

Microsoft PowerPoint 2016
試験問題解答方法
2024 年 4 月

プレゼンテーション作成検定試験

プレゼンテーション作成 模擬問題集

1・2 級編



日本情報処理検定協会

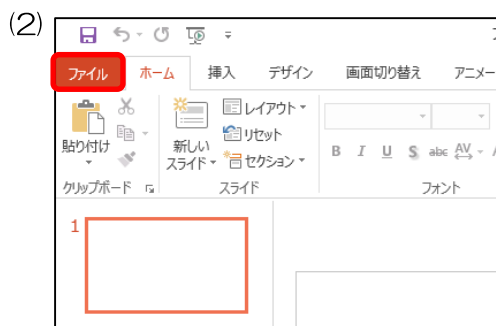
プレゼンテーション作成検定試験についての注意事項や作成手順などを紹介します。ここで紹介する手順は、Microsoft PowerPoint2016を基に説明しています。

試験前にすること

ファイルの保存



ソフトを立ち上げ、新しいプレゼンテーションを選択します。



[ファイル]タブを選択します。

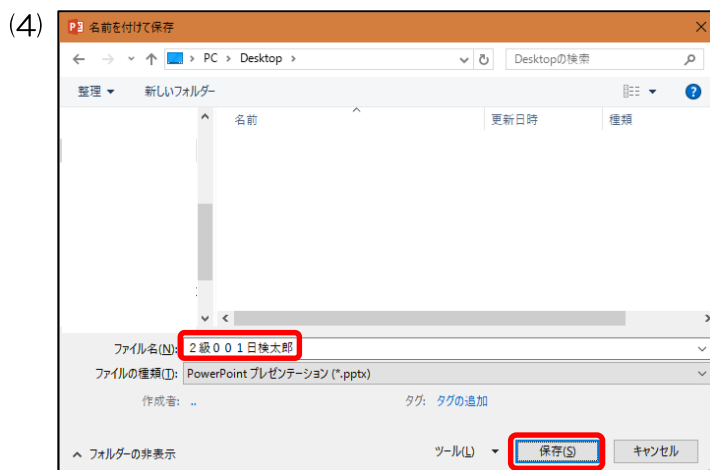


[名前を付けて保存]を選択し、保存場所を指定します。

検定のポイント

保存場所について

保存場所は試験監督に指示された場所にしましょう。実際の検定では、この答案ファイルのデータを当協会に提出していただきます。

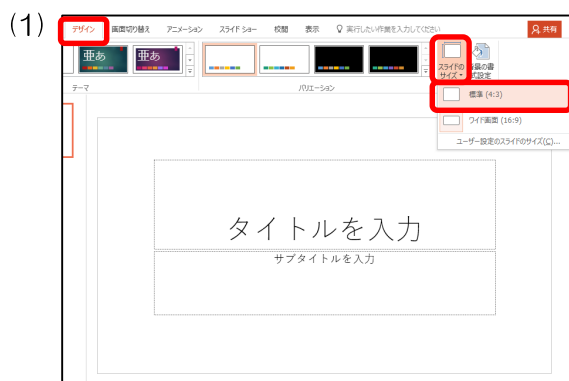


ファイル名に「級・受験番号・名前」を入力し、[保存]をクリックします。

※受験番号は試験日当日までに発表されます。

スライドサイズの変更

PowerPoint2016の既定のスライドサイズは「ワイド画面（16:9）」です。そのままでも減点にはなりませんが、作成例や模範解答のサイズは「標準（4:3）」のため、そのサイズに変更する方法を紹介します。



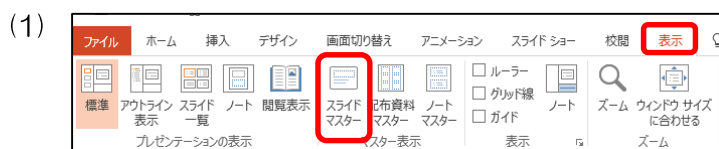
[デザイン]タブの[スライドのサイズ]から、[標準]を選択し、標準サイズになっていることを確認します。

検定のポイント

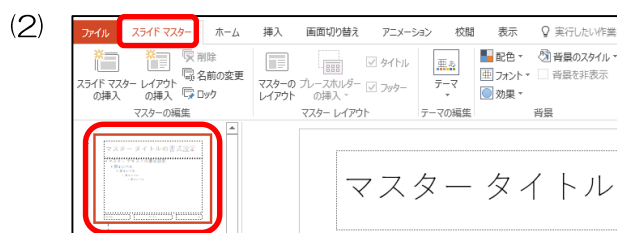
必ず作成する前にスライドサイズを標準にしてください。作成後に変更すると、フォントサイズや画像サイズ等が変わる場合があります。

標準フォントの設定

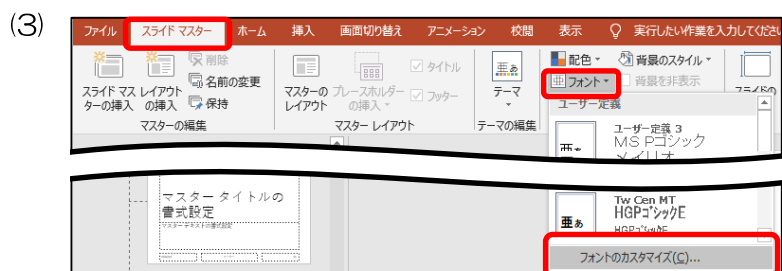
PowerPoint2016の既定値のフォントは「游ゴシック」です。「游ゴシック」のままでも減点にはなりませんが、作成例や模範解答のフォントは「MS Pゴシック」のため、既定値を「MS Pゴシック」にする方法を紹介します。



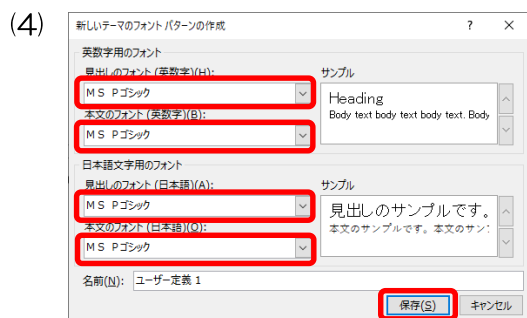
[表示]タブの[スライドマスター]を選択します。



[スライドマスター]タブの1番上の項目を選択します。



[スライドマスター]タブの「フォント」から「フォントのカスタマイズ」を選択します。



[英数字用のフォント]と[日本語文字用のフォント]をすべて「MS Pゴシック」に変更し、[保存]をクリックします。



フォントが変わったことを確認し、[スライドマスター]タブの[マスター表示を閉じる]を選択します。

実際の検定問題の裏面には下記のように検定の基本的なルールが記載されています。

プレゼンテーション作成検定試験

1. <作成例>を参照し、<処理条件>に従ってプレゼンテーションを作成しなさい。（ ）内太字も処理条件とする。

<処理条件>のルール

- ・ A－○. :すべてのスライド共通処理の指示
- ・ 1－○. : 1スライド目への指示
- ・ 2－○. : 2スライド目への指示
- ・ 3－○. : 3スライド目への指示
- ・ 4－○. : 4スライド目への指示
- ・ E－○. :最後にファイル全体に行う処理の指示

2. 改行位置は問題のとおりとし、文字の配置の指示がない場合は左寄せとする。
3. 標準フォント・文字色はゴシック・黒色とする。
4. 画像・グラフの配置、図形の形と配置は<作成例>のとおりとする。
5. 塗りつぶしの指示は、「図形の塗りつぶし」または「表のセルの塗りつぶし」の指示とする。
6. 【 】内はアニメーションの指示とし、クリック時に動作させる。丸数字は順序とし、1つのスライド内で丸数字が同じ場合は同時に動作させる。
7. 作成したプレゼンテーションファイルは事前に準備したファイル（級・受験番号・名前）に上書き保存する。

プレゼンテーション作成検定試験 2級練習問題

<問題>

試験時間は30分とし、PR2-00 フォルダー内の各データを使用する。

<前提>

対象：地域振興フェア来場者 目的：自転車シェアリングサービスの概要を紹介し、ブースへの来訪を促す。

<処理条件>

- A-1. すべてのスライドの右下にスライド番号を挿入しなさい。
A-2. すべてのスライドの背景は画像“back.jpg”とし、画面切り替えの設定をする。

- 1-1. 1枚目のスライドに、受験番号、名前を入力しなさい。
1-2. 図形（塗りつぶし白色）を中央に挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。
すべて48ポイント、中央揃えとする。

自転車シェアリングを
活用しよう

※“自転車シェアリング”は太字、斜体、下線、影付き、緑色とする。

- 1-3. 図形（塗りつぶし薄い緑色）を挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。

メリット(縦書き、28ポイント、中央揃え)

【①強調・スピン:図形】

- 1-4. <処理条件>1-3.の図形の右側に下記の文字を入力し、箇条書き記号をつけなさい。すべて明朝、28ポイントとし、行頭を揃え配置すること。

環境に優しい
交通事情の影響を受けにくい

【②開始・ズーム:文字】

- 2-1. 新しいスライドを挿入しなさい。図形（塗りつぶし緑色、線なし、影付き）を中央に挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。

利用していますか?(40ポイント、中央揃え、白色)

- 2-2. 下記の表を基に回答ごとの回答数割合を表す円グラフを作成しなさい。凡例は回答とし、%表示とする。

回答	利用している	利用していない	知らなかった
回答数	69	50	101

【①開始・フェード:グラフ】

- 2-3. <処理条件>2-2.のグラフの右側に下記の表を挿入しなさい。すべて明朝、28ポイントとし、線種は問題のとおりとする。

用途ランキング(中央揃え)(塗りつぶしオレンジ色)

1位	観光
2位	通勤
(垂直方向中央揃え)	通学
3位	近距離移動

【②開始・表示:表】

- 3-1. 新しいスライドを挿入しなさい。図形（塗りつぶし緑色、線なし、影付き）を中央に挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。

利用方法(40ポイント、中央揃え、白色)

- 3-2. 図形（塗りつぶし白色）・画像を挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。
すべて32ポイントとする。

好きな
ポートで借りる(赤色)

画像“2-1.png”

【①終了・スライドアウト・右へ:画像】

【①終了・スライドアウト・右へ:図形】

- 3-3. 画像・図形（塗りつぶし白色）を挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。
すべて32ポイントとする。

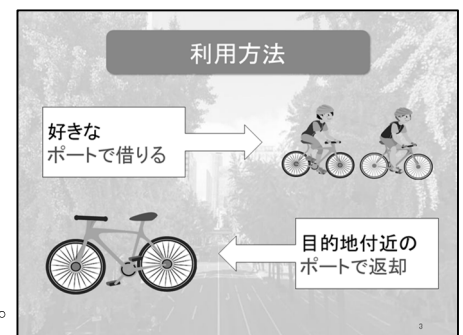
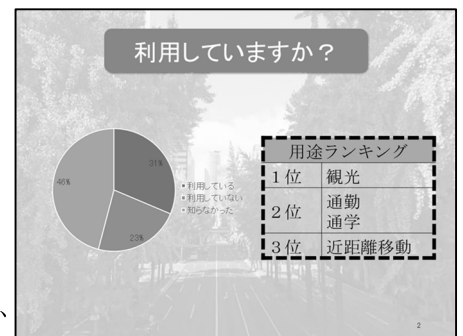
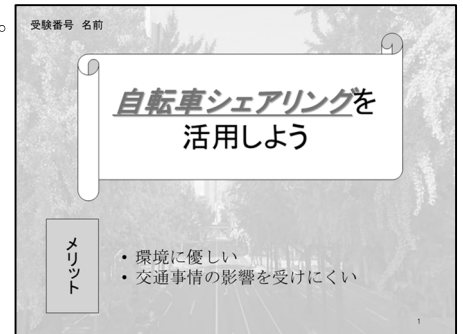
画像“2-2.png”

【②開始・スライドイン・右から:画像】

目的地付近の
ポートで返却(赤色)

【②開始・スライドイン・右から:図形】

<作成例>



- E-1. 作成したプレゼンテーションファイルを上書き保存しなさい。

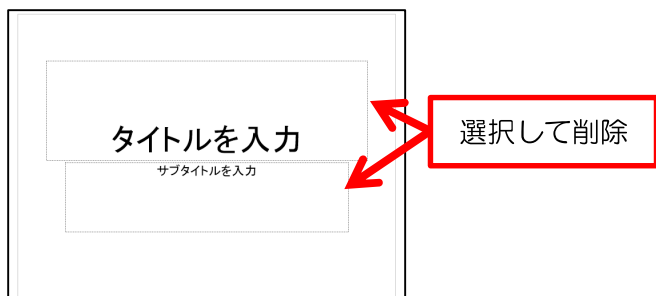
2級練習問題解答方法

問題文を基に処理条件に従って2級の解答をします。

スライド番号

A-1. すべてのスライドの右下にスライド番号を挿入しなさい。

(1)



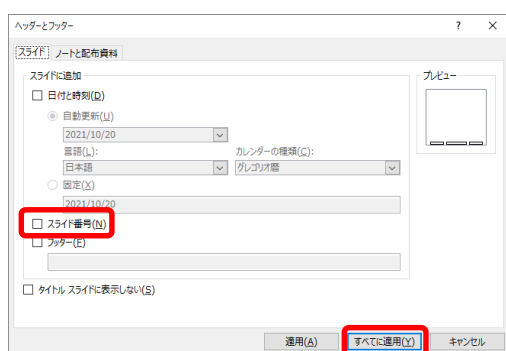
最初から出ているプレースホルダーを選択し、
Deleteキーで削除します。

(2)



[挿入]タブの[テキスト]グループの[スライド番号]
をクリックします。

(3)



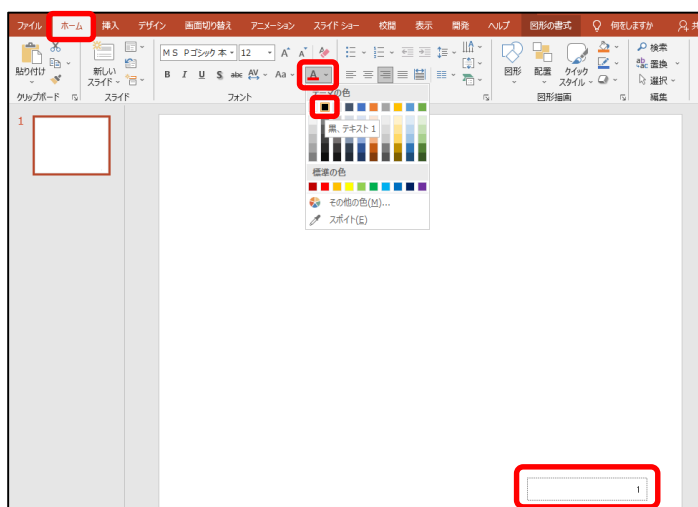
[スライド番号]のチェックを入れ、[すべてに適用]
をクリックします。

(4)



右下に灰色のスライド番号が挿入されました。

(5)



スライド番号の外枠を選択した後、[ホーム]タブ
の[フォント]グループから [色] の下矢印をクリックし、
[黒色]を選択します。

検定のポイント

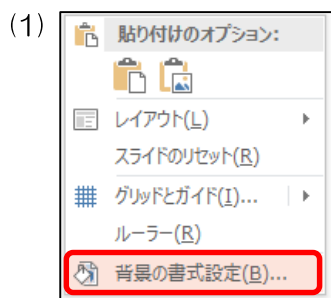
文字色の指示がない場合は[黒色]にします。もし、
スライド番号が全スライド黒色になっていない場合は、
全体で2点の減点です。

(6)



スライド番号が黒色になっていることを確認します。

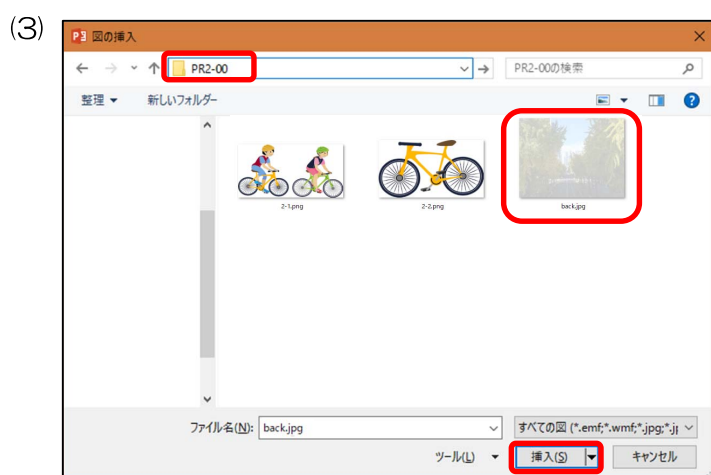
A-2. すべてのスライドの背景は画像“back.jpg”とし、画面切り替えの設定をする。



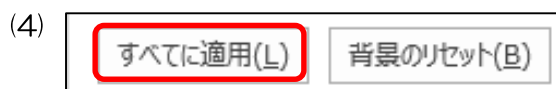
スライドの任意の場所で右クリックし、[背景の書式設定]を選択します。



[塗りつぶし（図またはテクスチャ）]を選択して、[挿入する]をクリックし、[ファイルから]を選択します。



[PR2-00]フォルダー内の[back.jpg]を選択し、[挿入]をクリックします。



[すべてに適用]をクリックします。



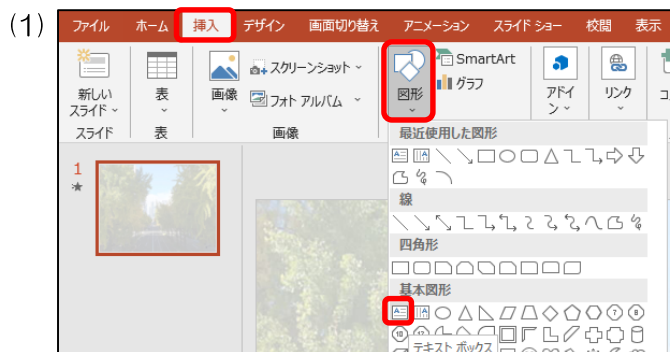
[画面切り替え]タブから任意の画面切り替えを選択し、[すべてに適用]を選択します。


検定のポイント

画面切り替えの種類は問いませんが[カット]など、スライドショー実行時に変化が分からないものは選択しないようにしましょう。

文字・記号の入力

1－1. 1枚目のスライドに、受験番号、名前を入力しなさい。



[挿入]タブの[図形]から  を選択します。



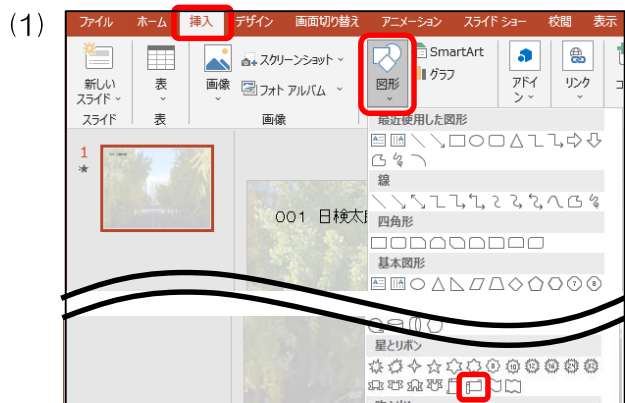
受験番号、名前を入力します。


図形描画・文字書体

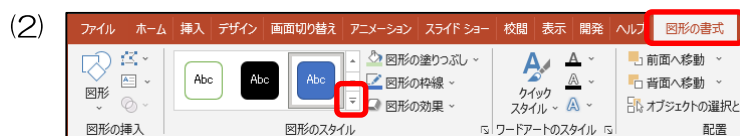
1－2. 図形（塗りつぶし白色）を中央に挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。すべて48ポイント、中央揃えとする。


自転車シェアリングを
活用しよう

※“自転車シェアリング”は太字、斜体、下線、影付き、緑色とする。



[挿入]タブの[図形]から  を選択します。



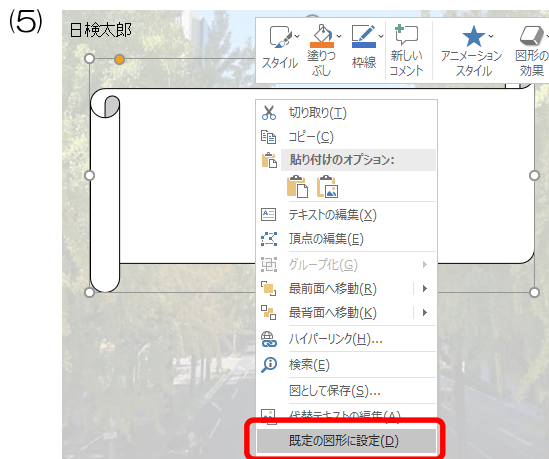
＜作成例＞を参考に図形を挿入し、[図形の書式]タブの[図形のスタイル]グループの  を選択します。



左上のスタイルを選択します。



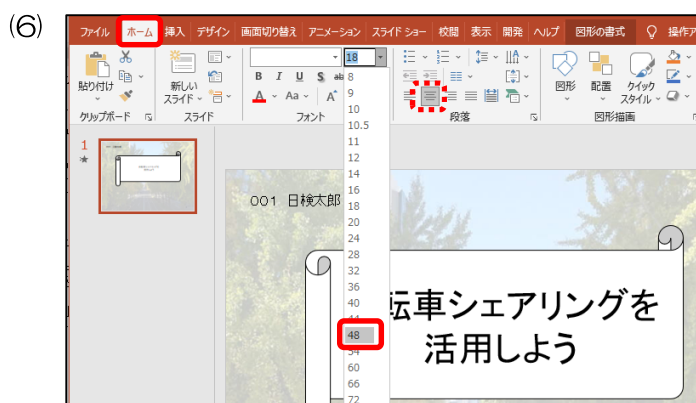
図形のスタイルが変更されたことを確認します。



図形を右クリックし、[既定の図形に設定]を選択します。

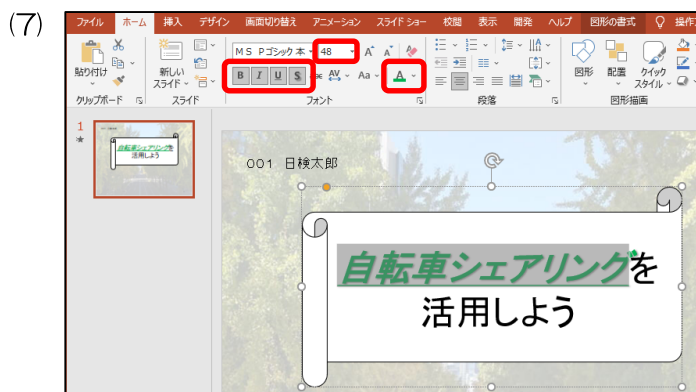
検定のポイント

バージョンによって模範解答と線の太さが違う場合がありますが、太さが統一されていれば減点はありません。



文字を入力し、[ホーム]タブから[48ポイント]を選択します。

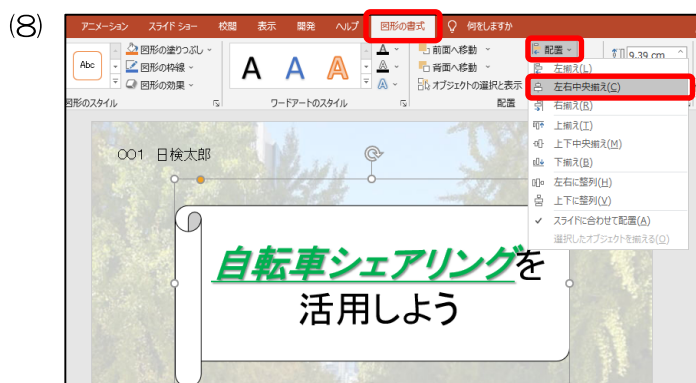
図形内の文字の配置が[中央揃え]になっていることを確認します。



文字を選択し、[ホーム]タブの[太字]、[斜体]、[下線]、[影付き]を選択し、文字の色を[緑色]にします。

検定のポイント

色については、目視でその色と判断できれば減点はありません。



図形をクリックした後、[図形の書式]タブ[配置]グループの[配置]の下矢印をクリックし、[左右中央揃え]を選択します。

検定のポイント

ほぼ中央に配置されていれば減点はありませんが、上記の方法を使えば、きちり中央に配置することができます。


文字の縦書き

1－3. 図形（塗りつぶし薄い緑色）を挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。

メリット（縦書き、28ポイント、中央揃え）

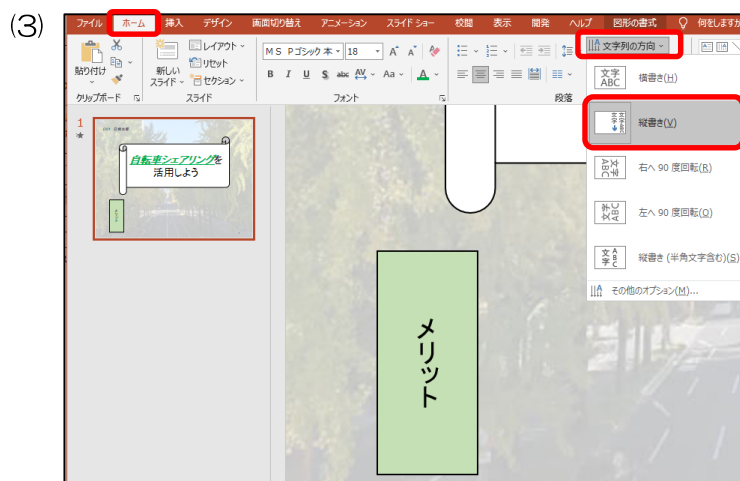
【①強調・スピン: 図形】



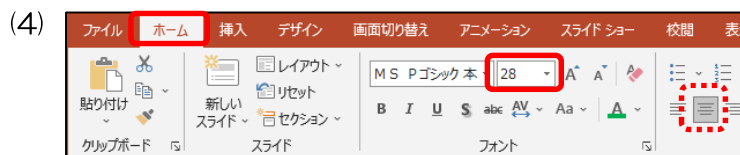
[挿入]タブの[図形]から  を選択し、挿入します。



[図形の書式]タブから[図形の塗りつぶし]を選択し、[薄い緑色]を選択します。



文字を入力し、[ホーム]タブの[文字列の方向]から[縦書き]を選択します。



図形の外枠をクリックし、[28ポイント]を選択します。

図形内の文字の配置が[中央揃え]になっていることを確認します。

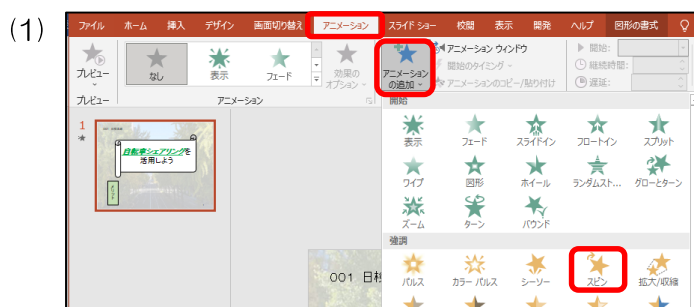
アニメーションの挿入

★アニメーションの＜処理条件＞について

【①強調・スピン: 図形】

種類
効果の分類（開始・強調・終了の3種類）
動作の順番

処理条件に従って、アニメーションを挿入しましょう。



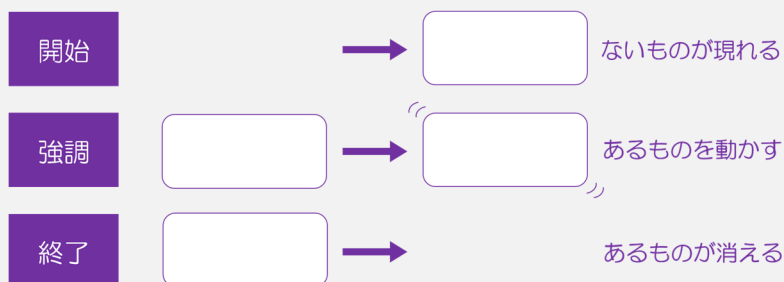
図形を選択し、[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[強調]から[スピン]を選択します。

検定のポイント

アニメーションの効果

開始・強調・終了について

下図の動きを参考にしてアニメーションの動きを確認してみましょう。



※「強調」は3級以上、「終了」は2級以上で出題されます。

簡条書き記号

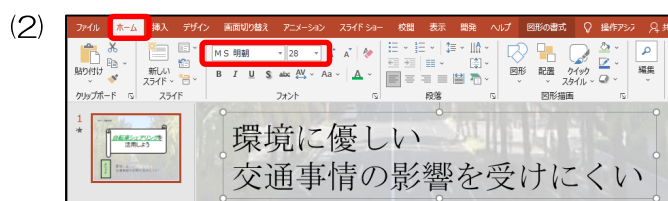
1－4. <処理条件> 1－3. の図形の右側に下記の文字を入力し、簡条書き記号をつけなさい。すべて明朝、28ポイントとし、行頭を揃え配置すること。

環境に優しい
交通事故の影響を受けにくい

【②開始・ズーム:文字】



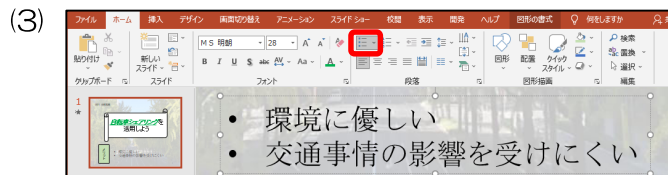
[挿入]タブの[図形]から を選択し、挿入します。



文字を入力し、[ホーム]タブで[MS明朝]、[28ポイント]にします。

検定のポイント

明朝であればMS明朝以外を使っても減点はありません。



テキストボックスの外側を選択し、 を選択し、簡条書き記号をつけ、<処理条件> 1－3. の図形の右側に配置します。



<処理条件>

【②開始・ズーム:文字】

文字すべてを選択し、[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[開始]から[ズーム]を選択します。

※[ズーム]の効果のオプションは[オブジェクトの中央]、[スライドの中央]のどちらを選択してもかまいません。

新しいスライドの挿入・図形の加工（線なし・影付き）

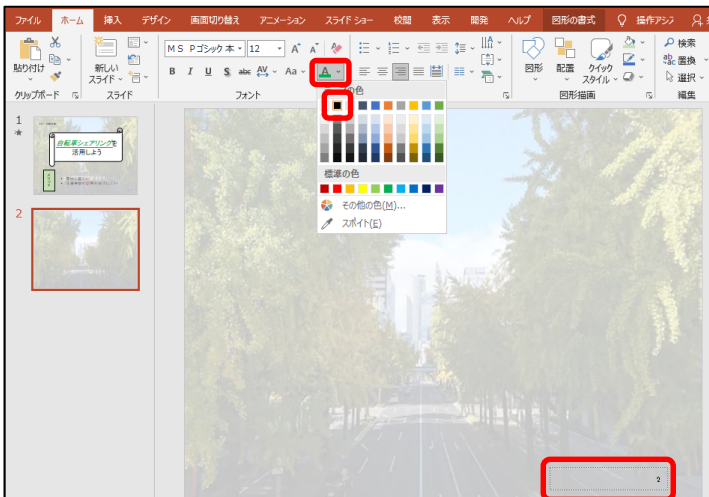
2-1. 新しいスライドを挿入しなさい。図形（塗りつぶし緑色、線なし、影付き）を中央に挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。

利用していますか？（40ポイント、中央揃え、白色）

(1) [ホーム]タブの[新しいスライド]をクリックし、2スライド目を作ります。



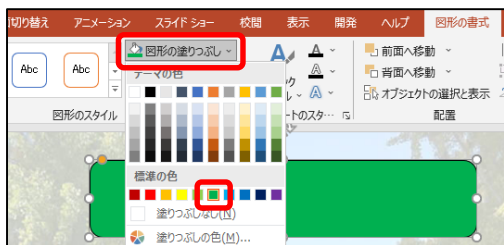
(2) 表示されているプレースホルダーを削除し、スライド番号を[黒色]にします。



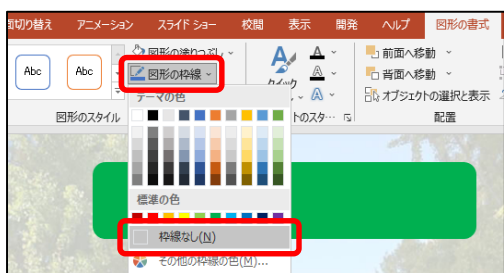
(3) [挿入]タブの[図形]から[四角形]を選択し、挿入します。



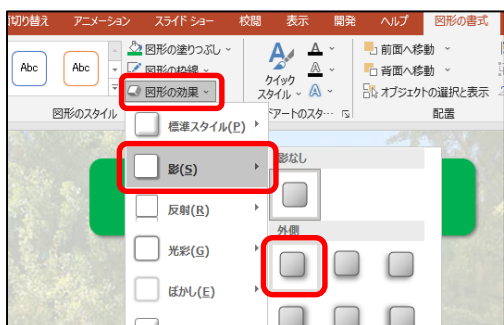
(4) [図形の塗りつぶし]から[緑色]を選択します。



(5) [図形の枠線]から[枠線なし]を選択します。

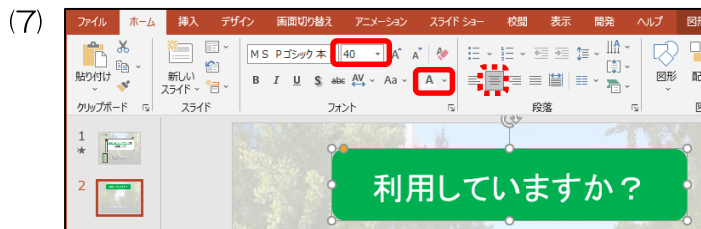


(6) [図形の効果]から[影]を選択し、任意の影を選択します。



検定のポイント

影の種類は問いません。



文字を入力し、[40ポイント]、[白色]にします。

図形内の文字の配置が[中央揃え]になっていることを確認し、図形を中央に配置します。

グラフの作成

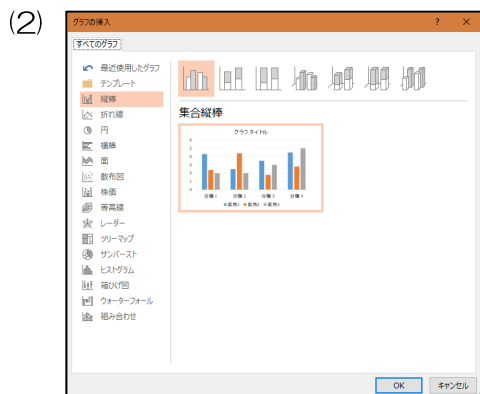
2-2. 下記の表を基に回答ごとの回答数割合を表す円グラフを作成しなさい。凡例は回答とし、%表示とする。

回答	利用している	利用していない	知らなかった
回答数	69	50	101

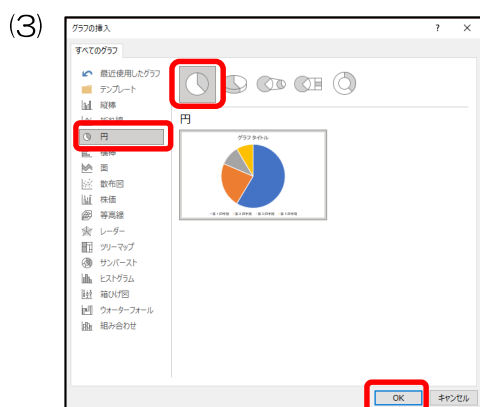
【①開始・フェード:グラフ】



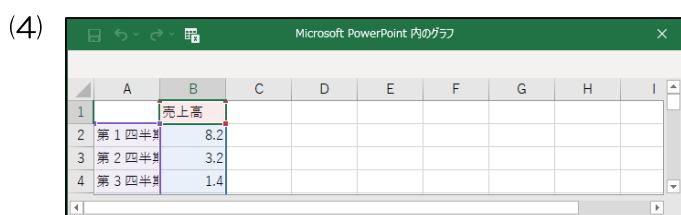
[挿入]タブの[グラフ]をクリックします。



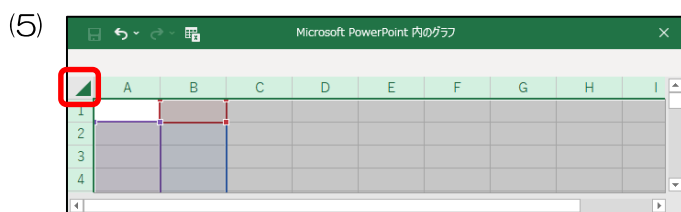
グラフの挿入のダイアログボックスが表示されます。



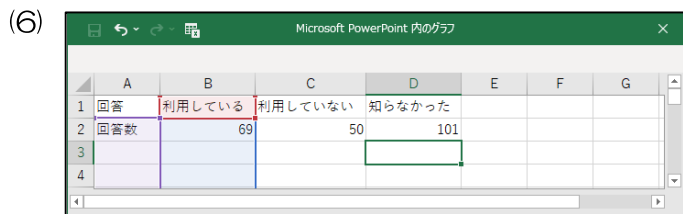
[円]から[円]を選択し、[OK]をクリックします。



Excel が立ち上がります。



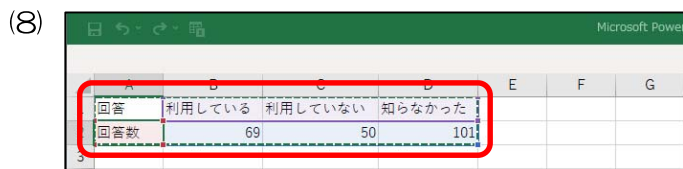
表の左上部分を選択して **Delete** キーを押して、データをすべて削除します。



問題文どおり文字や数値を入力します。



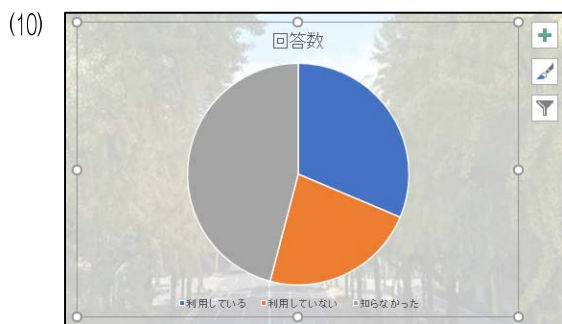
PowerPoint に戻り、[グラフのデザイン]タブから[データの選択]をクリックします。



ドラッグして入力した範囲を選択します。



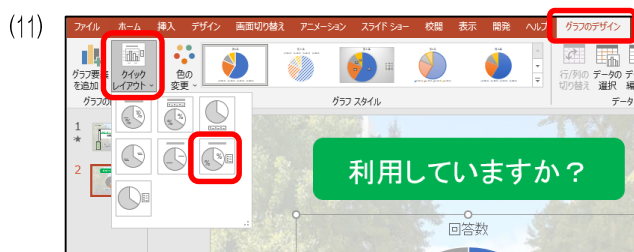
[行/列の切り替え]をクリックし、[OK]をクリックします。



PowerPoint 内にグラフが挿入されました。

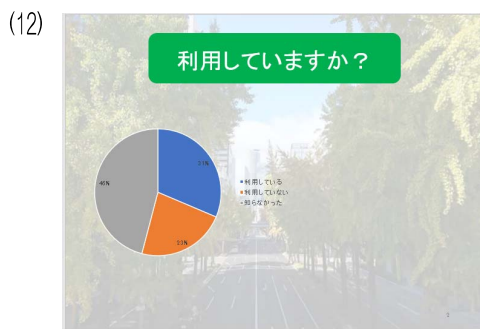
検定のポイント

グラフの凡例の位置や文字の色、目盛間隔は問いません。



%表示にするため、[グラフのデザイン]タブの[クイックレイアウト]からデータラベルが%表示になっている種類を選択します。

※凡例がないものを選ぶと減点になりますので注意しましょう。



タイトルを削除し、グラフのサイズを調整して配置します。

検定のポイント

タイトルの指示がある場合は、文字を入力し直し、指示がない場合は、必ず削除してください。



<処理条件>

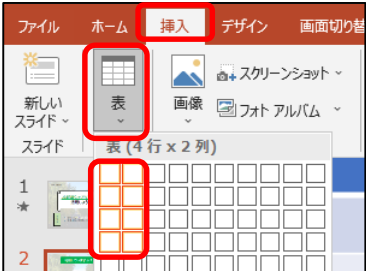
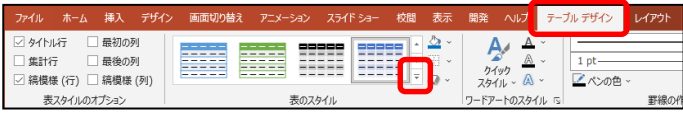

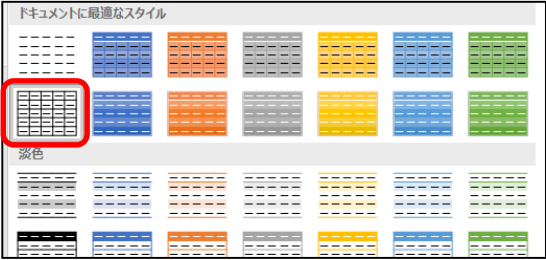
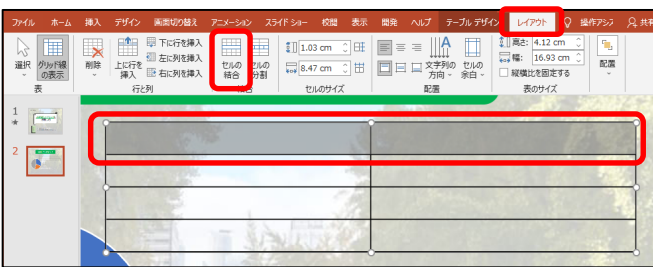



【①開始・フェード: グラフ】

[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[開始]から[フェード]を選択します。

2-3. <処理条件> 2-2. のグラフの右側に下記の表を挿入しなさい。すべて明朝、28ポイントとし、線種は問題のとおりとする。

用途ランキング(中央揃え)(塗りつぶしオレンジ色)	
1位	観光
2位 (垂直方向中央揃え)	通勤 通学
3位	近距離移動

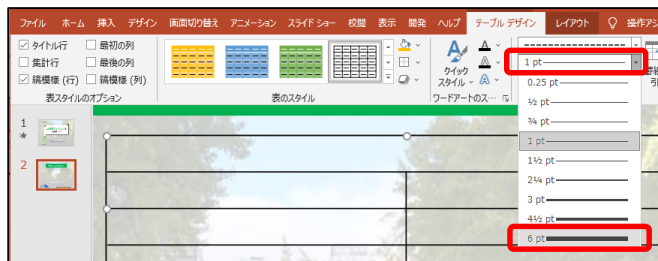
【②開始・表示:表】

- (1)  [挿入]タブの[表]グループの[表]をクリックした後、4行×2列の範囲を選択します。
- (2)  表を選択し、[テーブルデザイン]タブの[表のスタイル]グループの  をクリックします。
- (3)  左側の上から2つ目のスタイル(スタイルなし、表のグリッド線あり)を選択します。
- (4)  1行目をドラッグして選択し、[レイアウト]タブの[セルの結合]を選択します。
- (5)  表全体を選択します。
- (6)  [テーブルデザイン]タブの  をクリックし、[点線]を選択します。

検定のポイント

点線であればどの点線を使っても減点はありません。

(7)

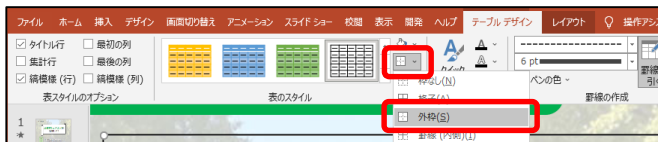


1 pt をクリックし、線の太さを選択します。

検定のポイント

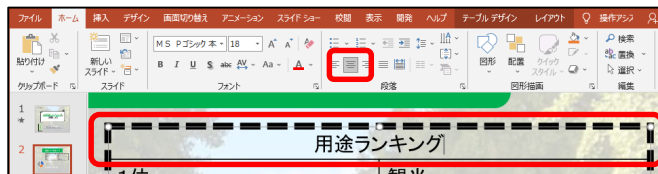
線の太さは、太くなっていることが確認できれば減点ははありません。

(8)



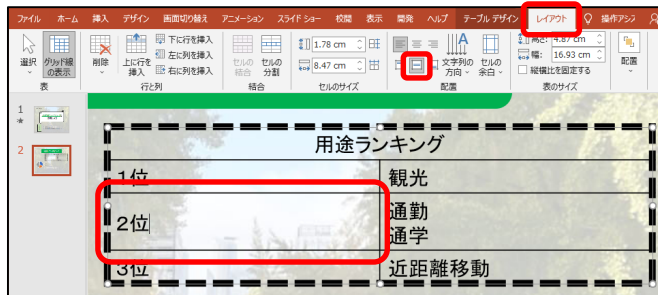
表全体を選択し、[表のスタイル]グループのの下矢印をクリックし、[外枠]を選択します。

(9)



表内に文字を入力し、1行目を中央揃えにします。

(10)



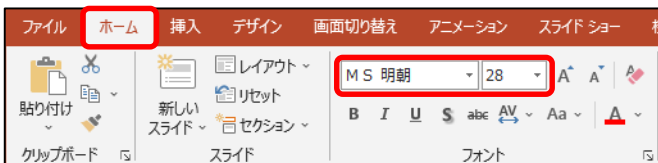
「2位」のセルを選択し、[レイアウト]タブの[配置]グループから を選択し、垂直方向中央揃えにします。

(11)



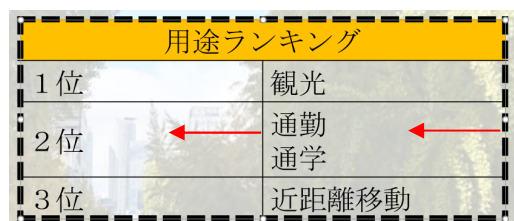
表の1行目を選択し、[テーブルデザイン]タブの[塗りつぶし]から[オレンジ色]を選択します。

(12)



表全体を選択し、[ホーム]タブから[MS明朝]、[28ポイント]を選択します。

(13)



表の枠線をドラッグして幅を調整しく処理条件> 2-2. のグラフの右側に配置します。



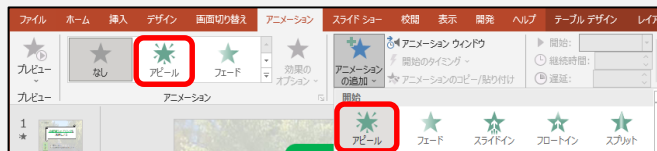
＜処理条件＞

【②開始・表示:表】

[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[開始]から[表示]を選択します。

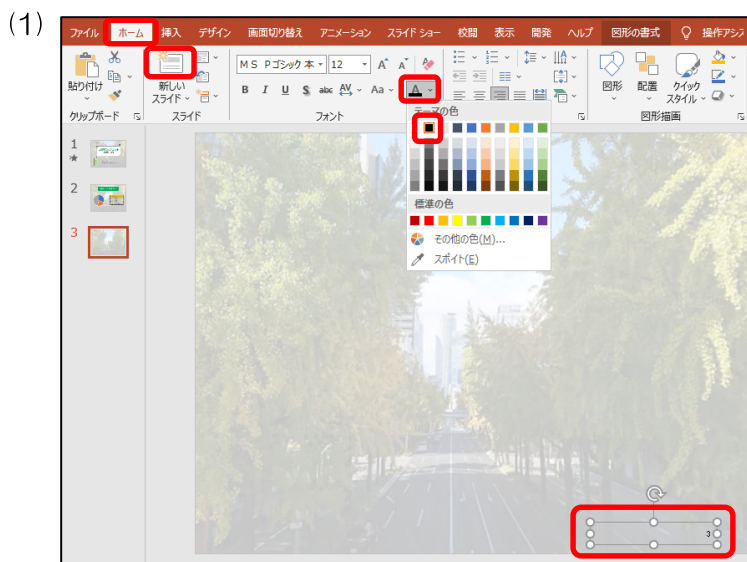
検定のポイント

アニメーションの[表示]は[アピール]となっている場合があります。



3-1. 新しいスライドを挿入しなさい。図形（塗りつぶし緑色、線なし、影付き）を中央に挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。


利用方法(40ポイント、中央揃え、白色)



[ホーム]タブの[新しいスライド]をクリックし、3スライド目を作ります。

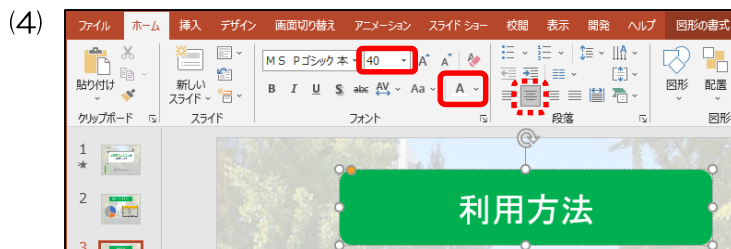
表示されているプレースホルダーを削除し、スライド番号を[黒色]にします。



[挿入]タブの[図形]から  を選択し、挿入します。



[図形の塗りつぶし]を[緑色]、[図形の枠線]を[枠線なし]、[図形の効果]を[影]（任意の影）にします。



文字を入力し、[40ポイント]、[白色]にします。図形内の文字の配置が[中央揃え]になっていることを確認し、図形を中央に配置します。

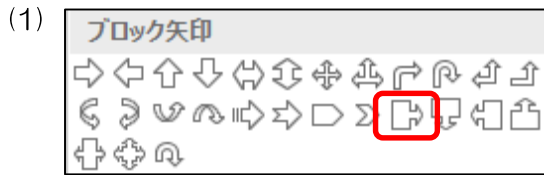
3-2. 図形（塗りつぶし白色）・画像を挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。すべて32ポイントとする。


好きな
ポートで借りる(赤色)

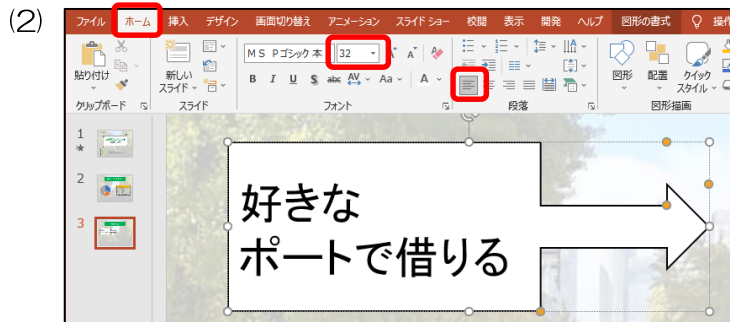
画像 “2-1.png”


【①終了・スライドアウト・右へ:画像】

【①終了・スライドアウト・右へ:図形】



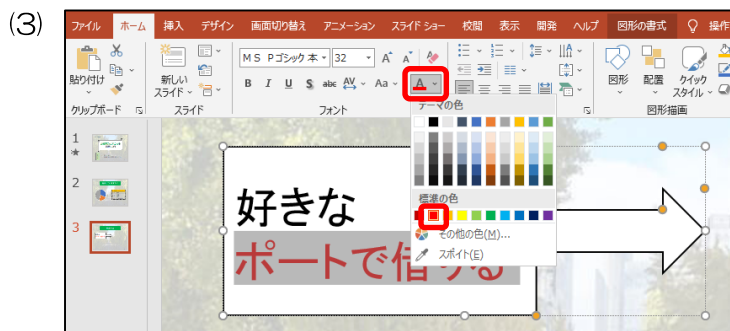
[挿入]タブの[図形]からを選択し、挿入します。



文字を入力し、図形の外枠を選択して、[ホーム]タブから[32ポイント]にし、を選択し、左揃えにします。

検定のポイント

文字の配置の指示がない場合は左揃えにします。



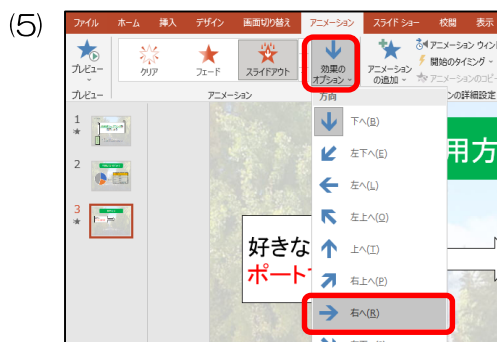
2行目をドラッグし、[赤色]にします。



<処理条件>

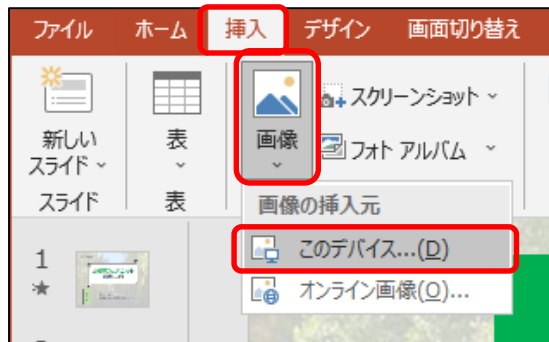
【①終了・スライドアウト・右へ:図形】

[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[終了]から[スライドアウト]を選択します。



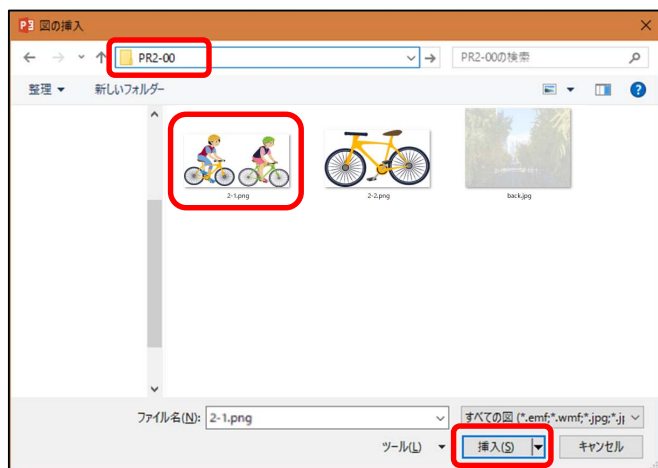
[効果のオプション]を選択し、[方向]から[右へ]を選択します。

(6)



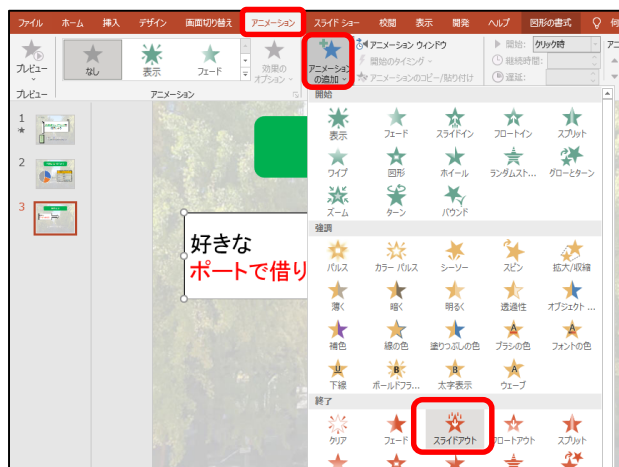
[挿入]タブの[画像]をクリックし、[画像の挿入元]から[このデバイス...]を選択します。

(7)



[PR2-00]フォルダー内の画像[2-1.png]を選択し、[挿入]をクリックし、配置します。

(8)

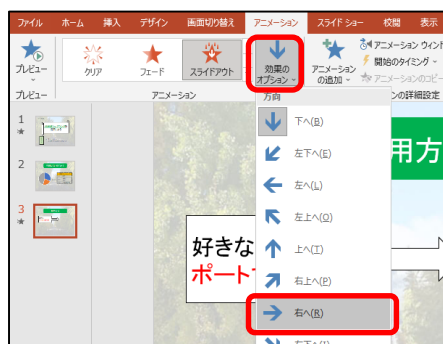


<処理条件>

【①終了・スライドアウト・右へ:画像】

[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[終了]から[スライドアウト]を選択します。

(9)



[効果のオプション]を選択し、[方向]から[右へ]を選択します。

アニメーションの応用（同時動作）

好きな
ボートで借りる(赤色)

【①終了・スライドアウト・右へ:図形】

画像 “2-1.png”

【①終了・スライドアウト・右へ:画像】

丸数字が同じ場合、同時動作の設定をします。



[アニメーション]タブから[アニメーションウィンドウ]を選択し、表示します。
[2]のアニメーションの上で右クリックし、[直前の動作と同時(W)]を選択します。



[すべて再生]をクリックし、同時に動作することを確認します。

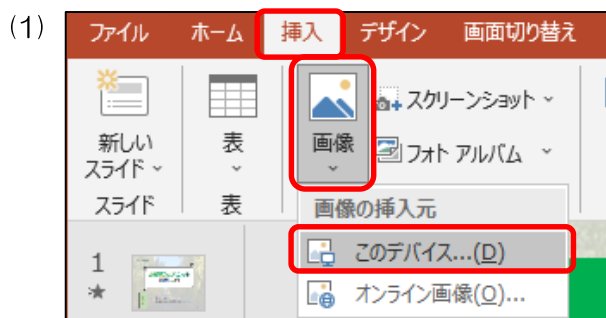
3-3. 画像・図形（塗りつぶし白色）を挿入し、図形内に下記の文字を入力しなさい。すべて32ポイントとする。

画像 “2-2.png”

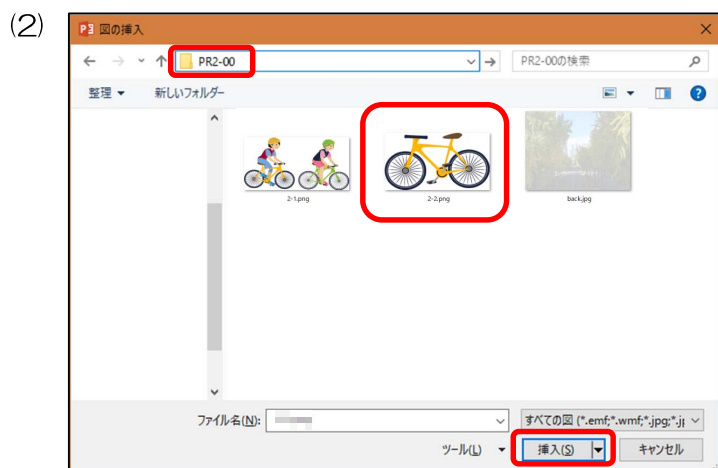
【②開始・スライドイン・右から:画像】

目的地付近の
ボートで返却(赤色)

【②開始・スライドイン・右から:図形】



[挿入]タブの[画像]をクリックし、[画像の挿入元]から[このデバイス...]を選択します。



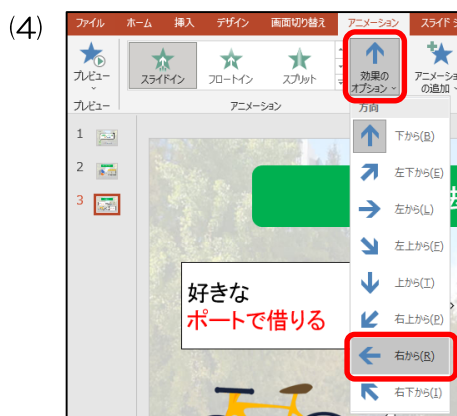
[PR2-00]フォルダー内の画像[2-2.png]を選択し、[挿入]をクリックし、配置します。



<処理条件>


【②開始・スライドイン・右から:画像】

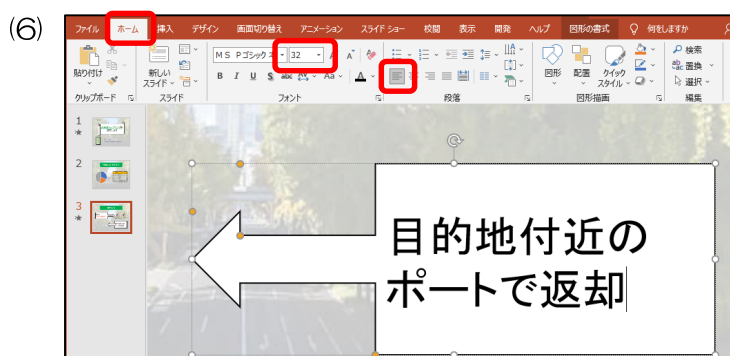
[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[開始]から[スライドイン]を選択します。




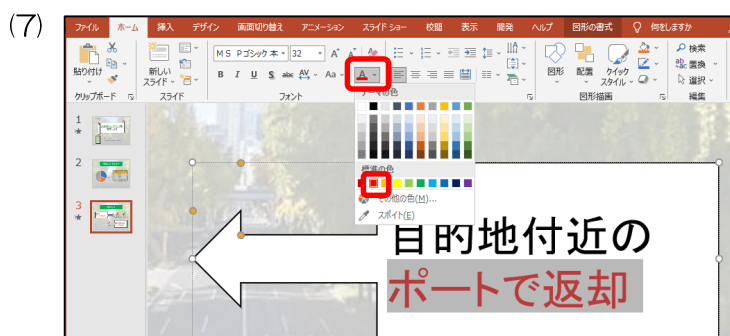
[効果のオプション]を選択し、[方向]から[右から]を選択します。



[挿入]タブの[図形]からを選択し、挿入します。



文字を入力し、図形の外枠を選択して、[ホーム]タブから[32ポイント]にし、を選択し、左揃えにします。



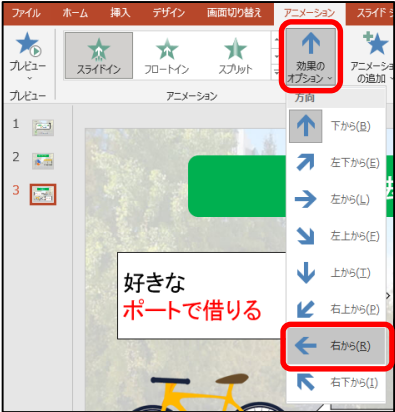
2行目をドラッグし、[赤色]にします。





<処理条件>

【②開始・スライドイン・右から:図形】

[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[開始]から[スライドイン]を選択します。


- (9)  [効果のオプション]を選択し、[方向]から[右から]を選択します。

- (10)  [アニメーションウィンドウ]の[3]のアニメーションの上で右クリックし、[直前の動作と同時]を選択します。

- (11)  [すべて再生]をクリックし、同時に動作することを確認します。


プレゼンテーションファイルの保存

E-1. 作成したプレゼンテーションファイルを上書き保存しなさい。

- (1)  上書き保存のアイコンをクリックして上書き保存をします。

スライドショーで確認

最後にスライドショーで処理条件どおりに設定できているか確認をします。誤った箇所・処理の見落としなどがあれば、修正し、再度上書き保存を行います。

- (1)  [スライドショー]タブの[スライドショーの開始]グループの[最初から]を選択し、処理条件どおりに設定できているか確認をします。

その他の機能・注意事項

図形について

図形は＜作成例＞と同じ図形を挿入します。

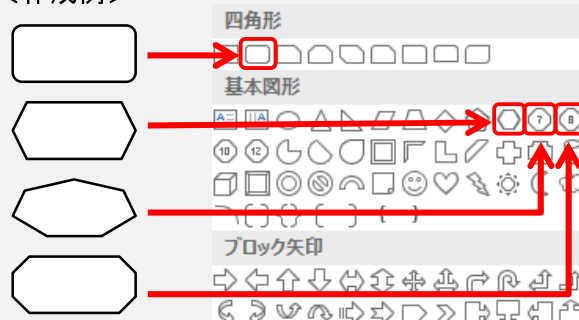


検定のポイント

似たような図形もあるため、間違えないようにしましょう。また、ブロック矢印は種類が多いため、正しいブロック矢印を選択しましょう。

見つけにくい・間違えやすい図形

＜作成例＞



上記の図形は、見つけにくく間違えやすいため、注意しましょう。

図形の例外

爆発・星



吹き出し



リボン



検定のポイント

通常、作成例どおりの図形にしなければなりませんが、例外の図形が3つあります。

1. 爆発・星
爆発、星であれば角の数は問いません。
2. 吹き出し
吹き出しと確認できれば、どの吹き出しでも減点はありせん。
3. リボン
リボンであれば、どのリボンでも減点はありせん。

標準フォント・文字色

問題裏面に、『3. 標準フォント・文字色はゴシック・黒色とする。』とありますので、フォント・文字の色の指示がない場合はゴシック、黒色とします。

フォントについて

『明朝』の指示がある場合、どの明朝を使っても減点はありません。ただし、例えば、明朝の指示に楷書や行書を使うと減点となります。

色について

処理条件では文字の色や図形の塗りつぶしの色が指示されています。目視で指示されている色であることが確認できれば、模範解答どおりの色でなくても減点はありません。

配置について

中央に配置の指示がある場合、目視で中央に配置されていることが確認できれば減点はありません。

図形の線の太さについて

図形を挿入した際、バージョンによっては線の太さが模範解答と違う場合がありますが、太さが統一されていれば減点はありません。

画像のサイズ変更について

用意されている画像のサイズを変更しないでください。

プレゼンテーション作成検定試験 1 級練習問題

<問題>

試験時間は30分とし、PR1-00 フォルダ内の各データを使用する。

<前提>

対象：会議出席者 目的：情報流出の原因となる「ヒューマンエラー」への注意喚起を行い、対策を考える。

<処理条件>

- A-1. 画像“1-1.png”（配置下部中央）・リンクの挿入（最初のスライド）
 A-2. スライド番号（24ポイント、斜体、茶色）（開始番号は0、1スライド目非表示、配置右下）
 A-3. 背景画像“back.png”・画面切り替え

<作成例>

- 1-1. 受験番号、名前を入力
 1-2. 文字入力（特殊文字）
 情報流出の原因は
 1-3. 図形（塗りつぶし白色、配置中央）・図形内文字入力
 ヒューマンエラー（66ポイント、太字、中央揃え、紫色）
 1-4. 画像“1-2.png”（配置<処理条件>1-3. 図形に作成例のように重ねる）

- 2-1. スライド挿入・文字入力
 原因（48ポイント、下線、影付き）
 2-2. 原因ごとの件数割合を100%積み上げ横棒グラフで作成
 基データ：graph.csv 凡例：原因

【①開始・フェード：グラフ】

- 2-3. 図形（塗りつぶし画像“1-3.png”、線なし、影付き、配置<処理条件>2-2. グラフの右側）・図形内文字入力（32ポイント、中央揃え、白色）

約8割が
人的ミス

【②開始・ズーム：図形】

- 2-4. 表（全セル塗りつぶし白色、線種は問題のとおり、配置中央）・表内文字入力（明朝、24ポイント）

事例	スマホで情報を持ち出し
（縦書き、中央揃え）	個人のPC利用
	テレワーク時に資料を紛失

【③開始・表示：表】

- 3-1. スライド挿入・文字入力
 流出が発生したら（48ポイント、下線、影付き）
 3-2. 文字入力（明朝、28ポイント、太字、行頭揃え、箇条書き記号）（配置中央）

責任者への報告
 原因の究明
 再発防止策の検討

【①開始・スライドイン・左から：文字】

- 3-3. 図形（塗りつぶし薄い青色）・図形内文字入力（縦書き、28ポイント、中央揃え、青色）

流出発生

対応・調査

事後対応

【②開始・フェード：図形】

【③開始・ズーム：図形】

【⑤開始・フェード：図形】

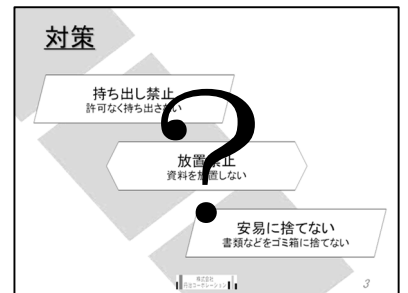
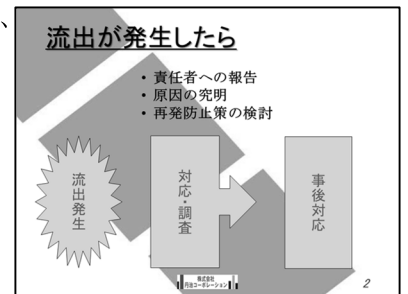
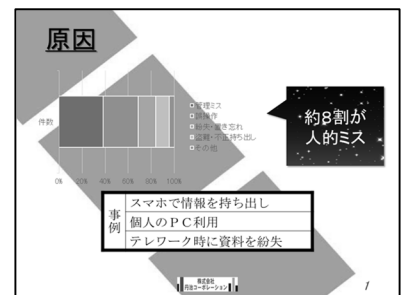
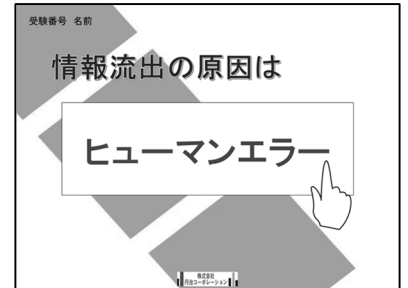
【③終了・フェード：図形】

【④終了・ズーム：図形】

- 4-1. スライド挿入・自由作成（下記条件を参照、アニメーションはグループの番号順に動作）

グループ	文字入力	見出し	条件
1	対策		48ポイント、下線、影付き
2	持ち出し禁止 許可なく持ち出さない	○	※改行位置：問わない ※見出しはグループ内で区別
3	放置禁止 資料を放置しない	○	（サイズ、フォント、太字、色など） ※配置：グループごと
4	安易に捨てない 書類などをゴミ箱に捨てない	○	※アニメーション設定：3種類以上 ※図形種類：2種類以上

- E-1. 上書き保存



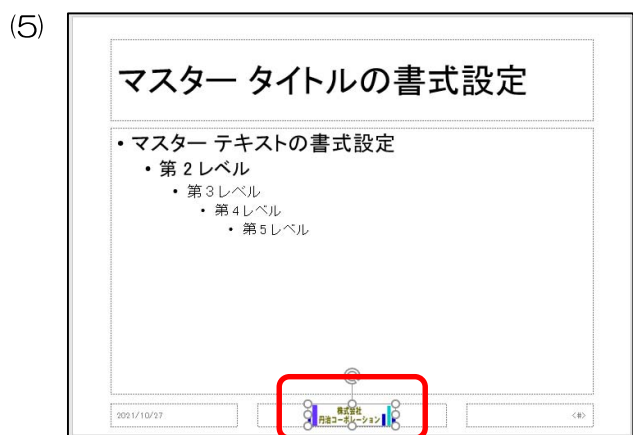
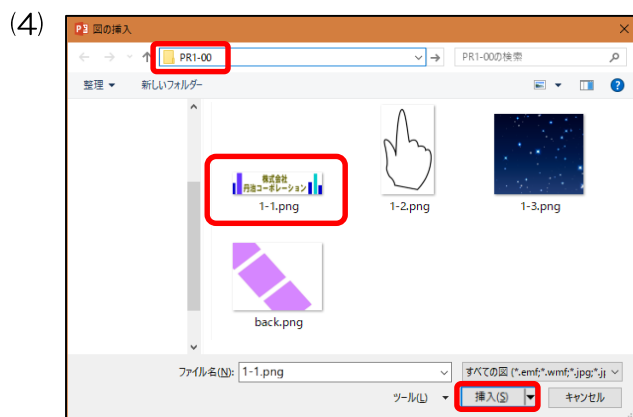
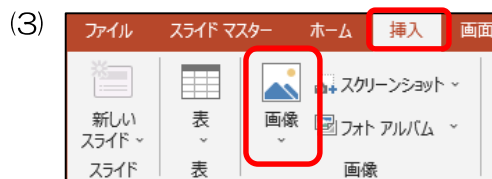
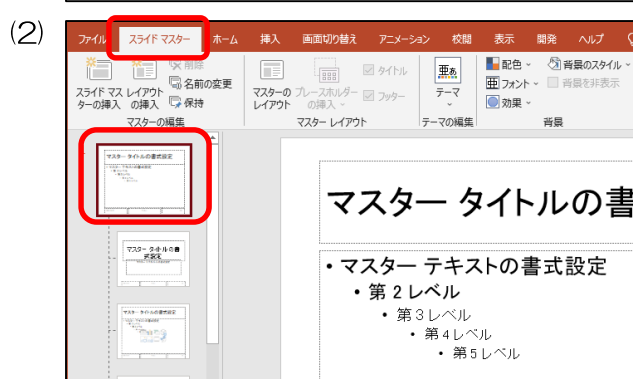
1 級練習問題解答方法

1 級の基準は2級の基準を含むため、まずは「2 級練習問題解答方法」に取り組んでから、この「1 級練習問題解答方法」に取り組みましょう。ここでは、1 級で初めて出題されるものを中心に解答していきます。

スライドマスター

「A」の付いた処理条件は、すべてのスライドへの共通の指示です。

A-1. 画像“1-1.png”（配置下部中央）・リンクの挿入（最初のスライド）



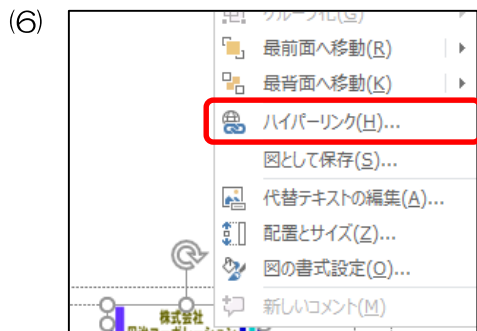
最初から出ているプレースホルダーを削除後、[表示]タブから[スライドマスター]をクリックします。

[スライドマスター]タブの一番上の項目を選択します。

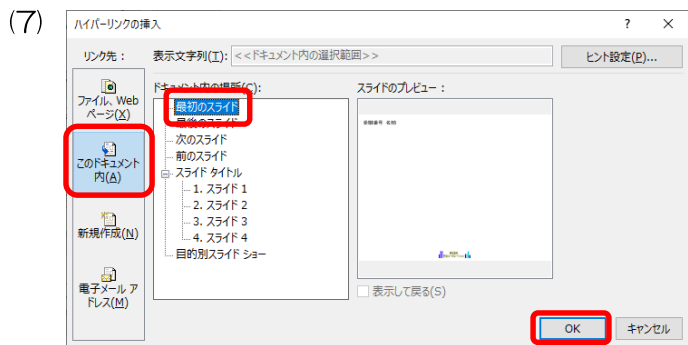
[挿入]タブの[画像]をクリックします。

[PR1-00]フォルダー内の[1-1.png]を選択し、[挿入]をクリックします。

画像をスライドの下部中央に配置します。



画像を右クリックし、[ハイパーリンク]を選択します。

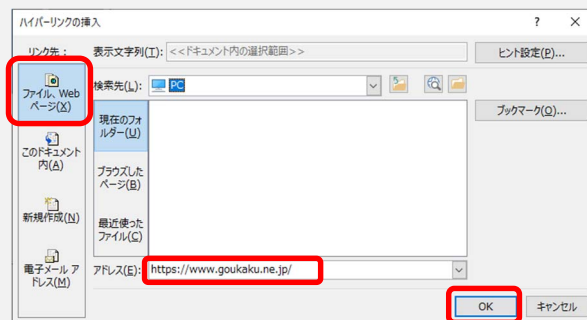


[このドキュメント内]を選択し、[最初のスライド]を選択して、[OK]をクリックします。

検定のポイント

リンク先について

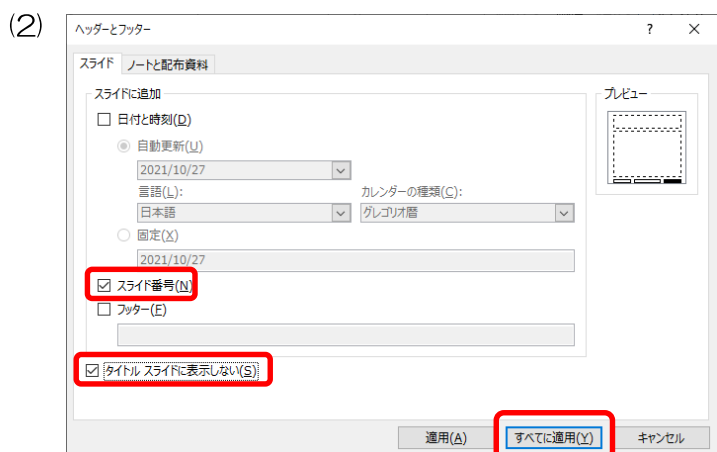
リンク挿入 (<https://www.goukaku.ne.jp/>) という指示の場合は、[ファイル、Web ページ]にある[アドレス]に「<https://www.goukaku.ne.jp/>」と入力し、[OK]をクリックします。



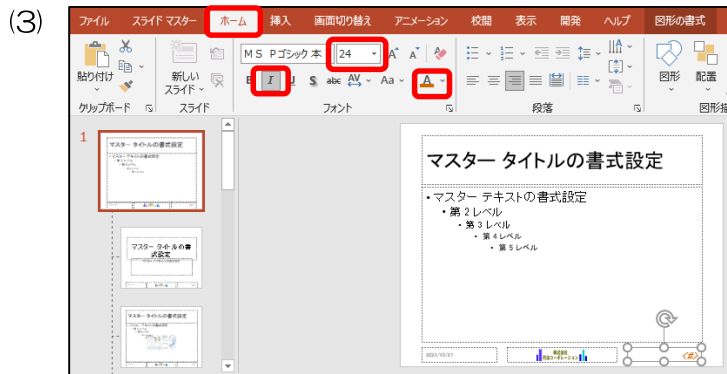
A-2. スライド番号（24ポイント、斜体、茶色）（開始番号は0、1スライド目非表示、配置右下）



[挿入]タブから[スライド番号]をクリックします。



[スライド番号]と[タイトルスライドに表示しない]にチェックを入れ、[すべてに適用]をクリックします。



スライド番号の外枠を選択し、[ホーム]タブから[24ポイント]、[斜体]、[茶色]を選択します。



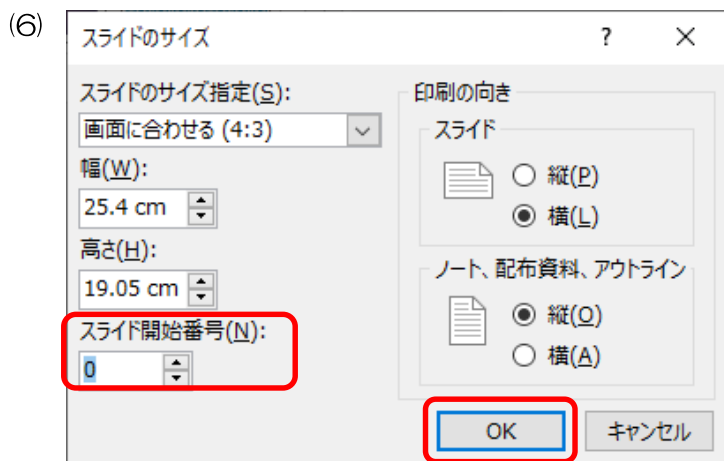
[スライドマスター]タブから[マスター表示を閉じる]をクリックします。



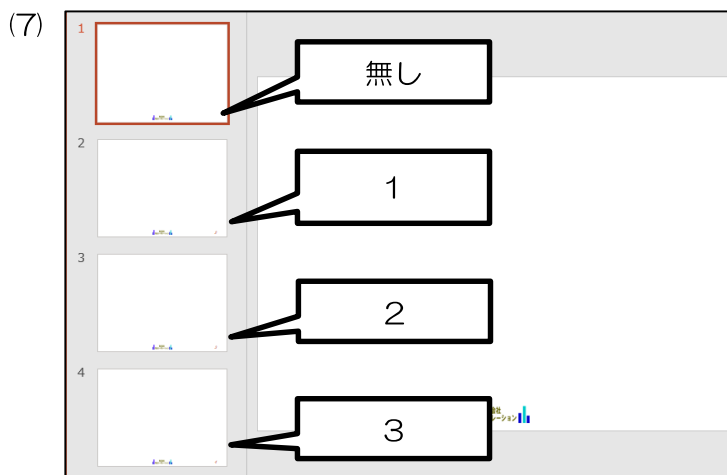
[デザイン]タブの[スライドのサイズ]から[ユーザー設定のスライドのサイズ]を選択します。

検定のポイント

バージョンによっては[デザイン]タブの[ページ設定]や[ユーザー設定]を選択します。

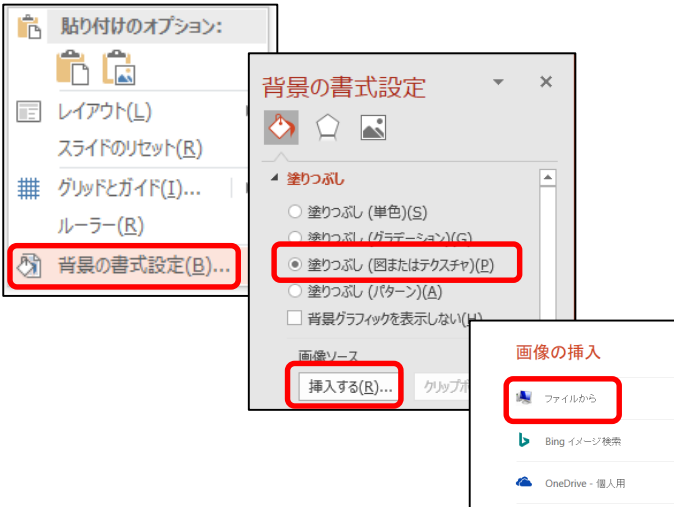
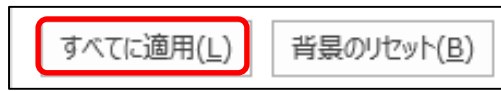


スライド開始番号を「0」にし、[OK]をクリックします。



新しいスライドを3枚挿入します。
1 枚目のスライド番号が[無し]
2 枚目のスライド番号が[1]
3 枚目のスライド番号が[2]
4 枚目のスライド番号が[3]
になっていることを確認します。

A-3. 背景画像 “back.png” ・画面切り替え

- (1) 
- (2) 

スライドの任意の場所で右クリックし、[背景の書式設定]を選択します。
[塗りつぶし（図またはテクスチャ）]を選択して、[挿入する]をクリックし、[ファイルから]を選択して[PR1-00]フォルダー内の[back.png]を選択し、[挿入]をクリックします。

[すべてに適用]をクリックします。

- (3) 


[画面切り替え]タブから任意の画面切り替えを選択し、[すべてに適用]を選択します。

検定のポイント

画面切り替えの種類は問いませんが[カット]など、スライドショー実行時に変化が分からないものは選択しないようにしましょう。

1-1. 受験番号、名前を入力

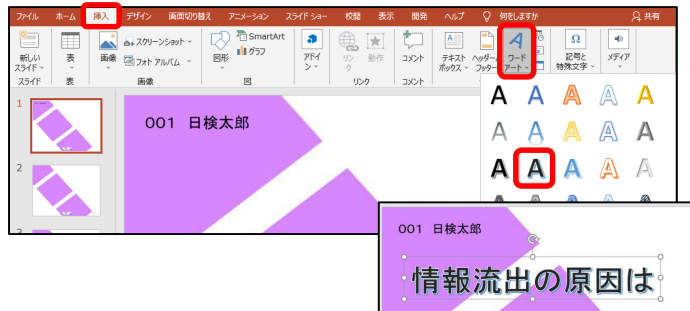
- (1) 

[挿入]タブの[図形]からを選択、描画し、受験番号、名前を入力します。

特殊文字

1-2. 文字入力（特殊文字）

情報流出の原因は

- (1) 

[挿入]タブの[ワードアート]から任意の種類を選択し、文字を入力します。

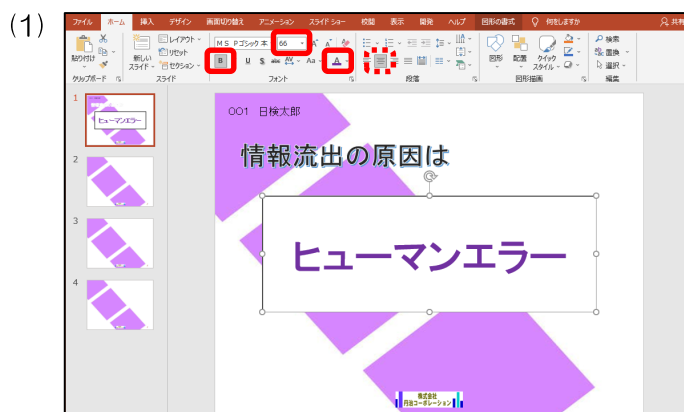
検定のポイント

ワードアートの種類、フォントサイズは問いません。

1－3. 図形（塗りつぶし白色、配置中央）・図形内文字入力

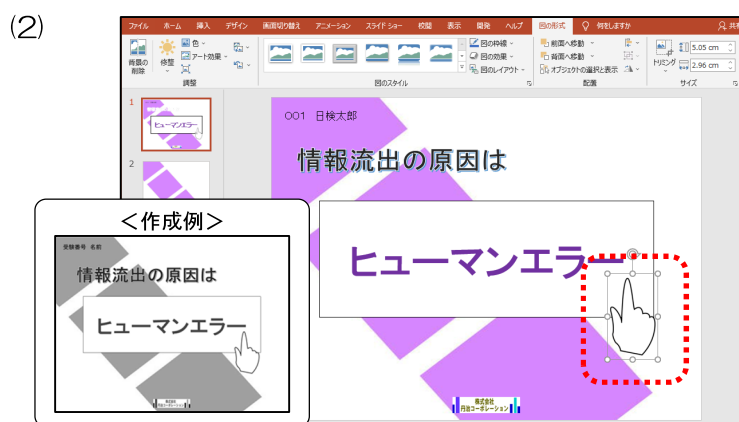
ヒューマンエラー（66ポイント、太字、中央揃え、紫色）

1－4. 画像“1-2.png”（配置＜処理条件＞1－3. 図形に作成例のように重ねる）



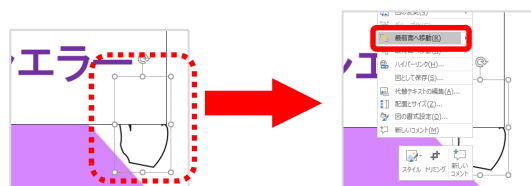
図形を挿入し、塗りつぶしは白色、配置は中央にします。

文字を入力し、66ポイント、太字、紫色、中央揃えにします。



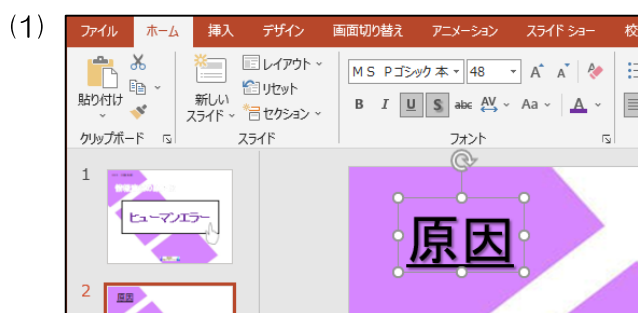
[挿入]タブの[画像]から[1-2.png]を選択して挿入し、＜作成例＞と同じように(1)の図形の上に重ねます。

※もし下図のように順序が変わってしまったら、画像を選択して右クリックし、[最前面へ移動]を選択します。



2－1. スライド挿入・文字入力

原因（48ポイント、下線、影付き）



2スライド目に、処理条件どおり処理を行います。

テキストファイル（CSV 形式）を使用したグラフの作成

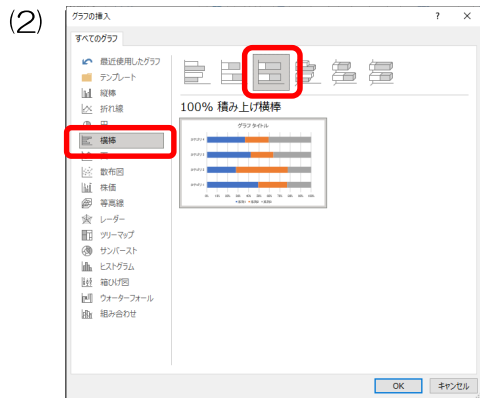
2－2. 原因ごとの件数割合を100%積み上げ横棒グラフで作成

基データ：graph.csv 凡例：原因

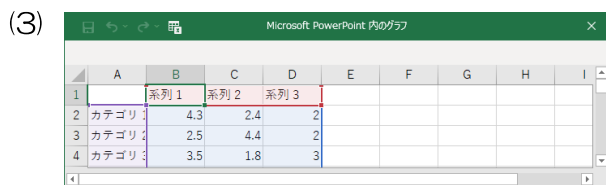
【①開始・フェード：グラフ】



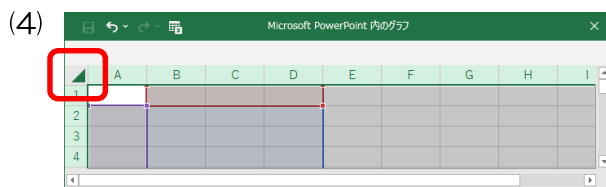
[挿入]タブの[グラフ]をクリックします。



[100%積み上げ横棒]グラフを選択します。



Excel が立ち上がります。



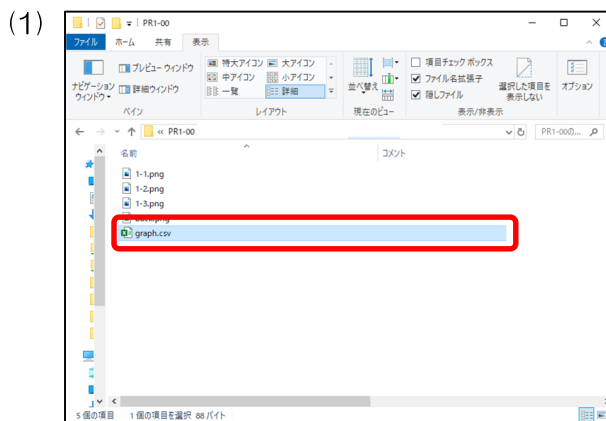
表の左上部分を選択して **Delete** キーを押して、データをすべて削除します。

ここからは、2種類の方法をご紹介します。

①CSV ファイルを開き、中のデータをコピーして貼り付ける方法

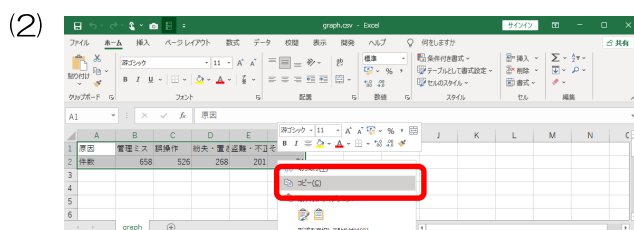
②CSV ファイルをインポートする方法

方法①

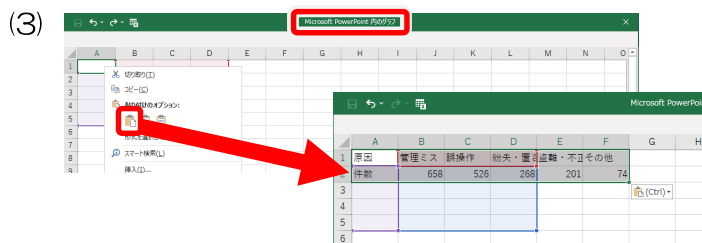


[PR1-00]フォルダーを開き、[graph.csv]を開きます。

※環境によっては、Excel で開かず、貼り付けがうまくいかない場合があります。その場合には、②の方法でデータをインポートしてください。



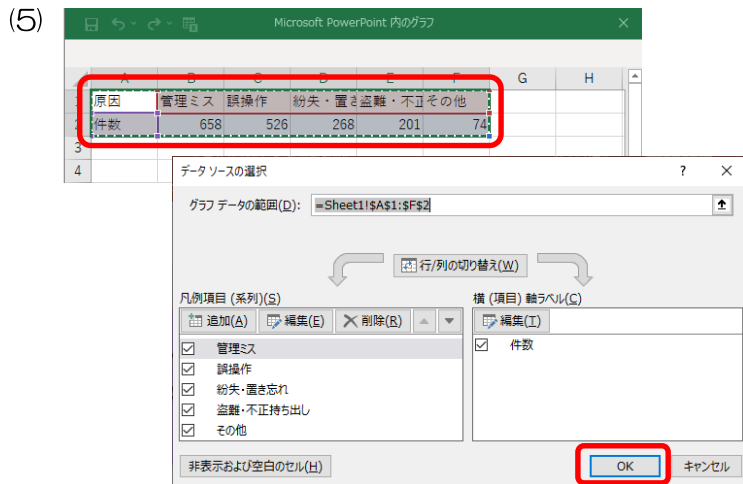
中のデータを選択して右クリックし、[コピー]を選択します。



PowerPoint 内のグラフの Excel ファイルの A1セルの上で右クリックし、**貼り付け** を選択し、貼り付けます。

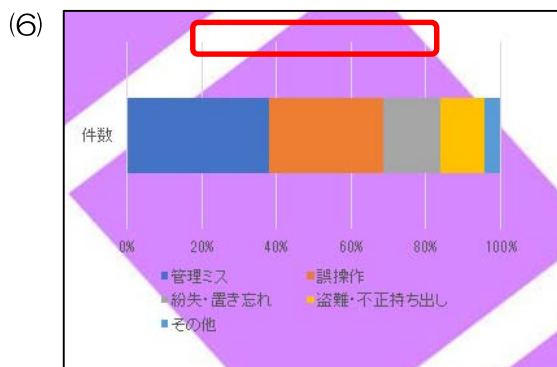


PowerPoint に戻り、[グラフのデザイン]タブから[データの選択]を選択します。



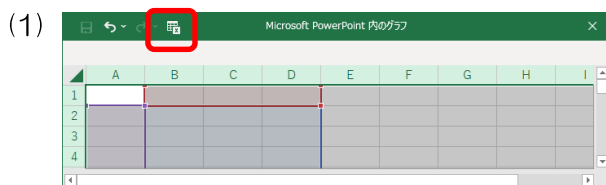
データの範囲を選択した後、[OK]をクリックします。

※ [行/列の切り替え]が必要な場合もあります。



グラフタイトルの指示がないため、グラフタイトルを削除します。

方法②

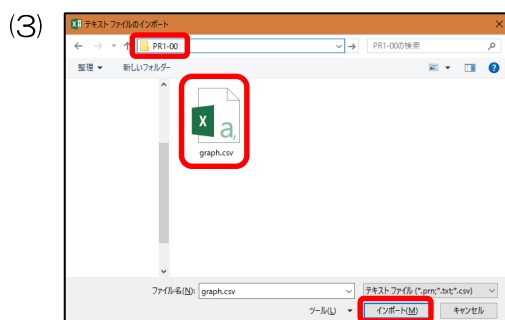


Excel のアイコンをクリックします。

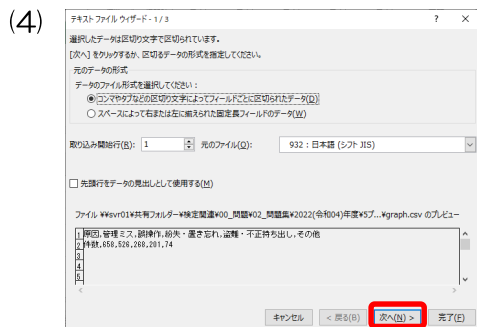


[データ]タブから[外部データの取り込み]の[テキストファイル]を選択します。

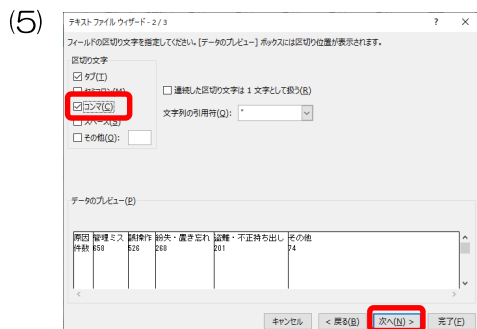
※下図のように[データの取得と変換]と表示されている場合、P. 36の手順を参考にしてください。



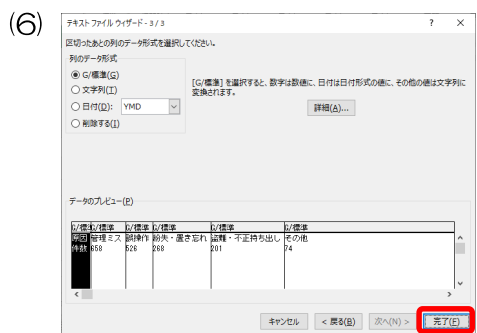
[PR 1 -00] フォルダ内の[graph.csv]を選択し、[インポート]をクリックします。



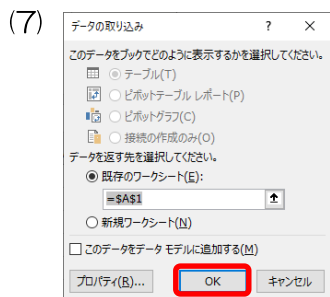
[次へ]をクリックします。



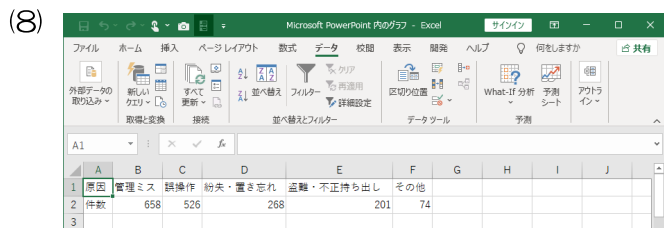
[コンマ]にチェックを入れ[次へ]をクリックします。



[完了]をクリックします。



[OK]をクリックします。



データが入ったことを確認します。

(9) 方法①の(4)～(6)までと同様に、PowerPointに戻り、グラフの設定を行います。

挿入したグラフを選択し、アニメーションを設定します。



<処理条件>

【①開始・フェード: グラフ】

[アニメーション]タブの[アニメーションの詳細設定]グループから[アニメーションの追加]を選択し、[開始]から[フェード]を選択します。

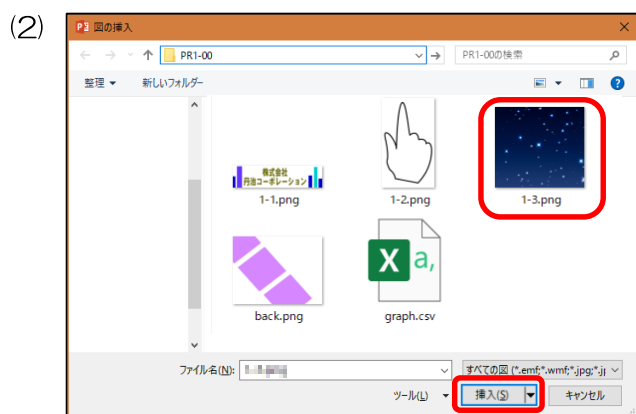
2-3. 図形（塗りつぶし画像“1-3.png”、線なし、影付き、配置＜処理条件＞2-2. グラフの右側）・図形内文字入力（32ポイント、中央揃え、白色）

約8割が
人的ミス

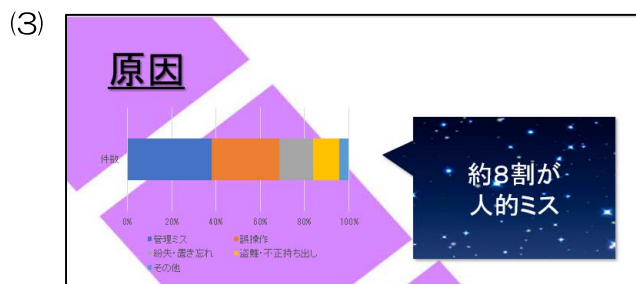
【②開始・ズーム：図形】



図形を挿入し、[図形の書式]タブから[図形の塗りつぶし]を選択し、[図]を選択します。



ファイルから[1-3.png]を選択し、[挿入]をクリックします。

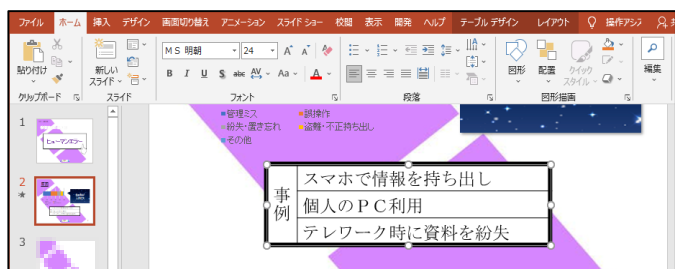


図形に線なし、影付きの処理を行い、文字を入力して、処理条件どおり処理を行います。

2-4. 表（全セル塗りつぶし白色、線種は問題のとおり、配置中央）・表内文字入力（明朝、24ポイント）

事例 (縦書き、中央揃え)	スマホで情報を持ち出し
	個人のPC利用
	テレワーク時に資料を紛失

【③開始・表示：表】



3行2列の表を挿入し、処理条件どおり処理を行います。

検定のポイント

アニメーションの[表示]は[アピール]となっている場合があります。



3-1. スライド挿入・文字入力

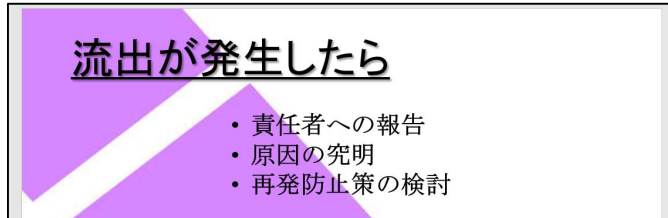
流出が発生したら(48ポイント、下線、影付き)

3-2. 文字入力(明朝、28ポイント、太字、行頭揃え、箇条書き記号)(配置中央)

責任者への報告

原因の究明

再発防止策の検討 【①開始・スライドイン・左から:文字】



3スライド目に、処理条件どおり処理を行います。

応用

3-3. 図形(塗りつぶし薄い青色)・図形内文字入力(縦書き、28ポイント、中央揃え、青色)

流出発生

対応・調査

事後対応

【②開始・フェード:図形】

【③開始・ズーム:図形】

【⑤開始・フェード:図形】

【③終了・フェード:図形】

【④終了・ズーム:図形】

設定のポイント

- ・ 1個の図形に2個のアニメーションを設定する
- ・ ③のアニメーションは同時に動作させる



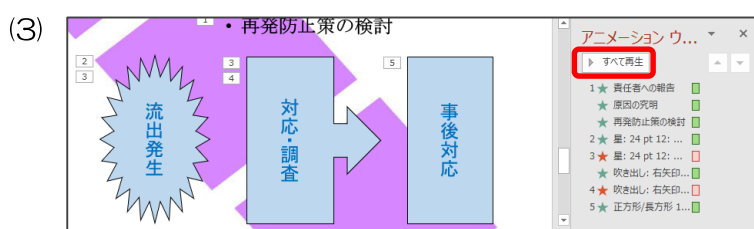
3個の図形とも、アニメーション以外の処理をすべて行います。

1個目の「流出発生」の図形を選択し、[アニメーションの追加]をクリックして[開始]から[フェード]を選択します。再度[アニメーションの追加]をクリックし、[終了]から[フェード]を選択します。



2個目の「対応・調査」の図形を選択し、[アニメーションの追加]をクリックして[開始]から[ズーム]を選択します。

[アニメーションウィンドウ]を表示させ、[4]のアニメーションの上で右クリックし、[直前の動作と同時]を選択します。



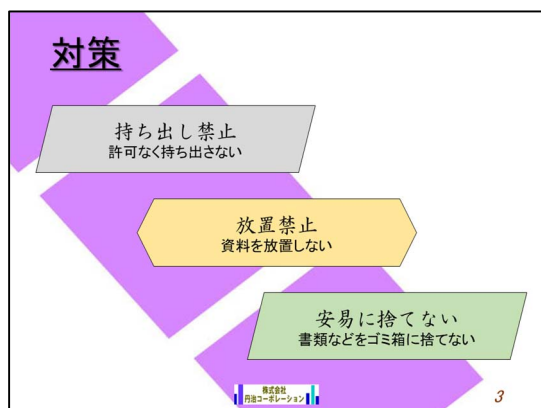
残りのすべてのアニメーションも追加し、[すべて再生]をクリックして動作を確認します。

検定のポイント

1級では、1個のオブジェクトに2個以上のアニメーションを設定する出題があります。

4-1. スライド挿入・自由作成（下記条件を参照、アニメーションはグループの番号順に動作）

グループ	文字入力	見出し	条件
1	対策		48ポイント、下線、影付き
2	持ち出し禁止 許可なく持ち出さない	○	※改行位置：問わない ※見出しはグループ内で区別 (サイズ、フォント、太字、色など)
3	放置禁止 資料を放置しない	○	※配置：グループごと
4	安易に捨てない 書類などをゴミ箱に捨てない	○	※アニメーション設定：3種類以上 ※図形種類：2種類以上



指定された条件に基づいて自由にスライドを作成します。条件を満たしていれば、＜作成例＞どおりのできあがりでなくてもかまいません。

検定のポイント

見出し列に○の付いている文字は、フォントサイズを大きくするなど、見出しとして分かるようにしましょう。

E-1. 上書き保存

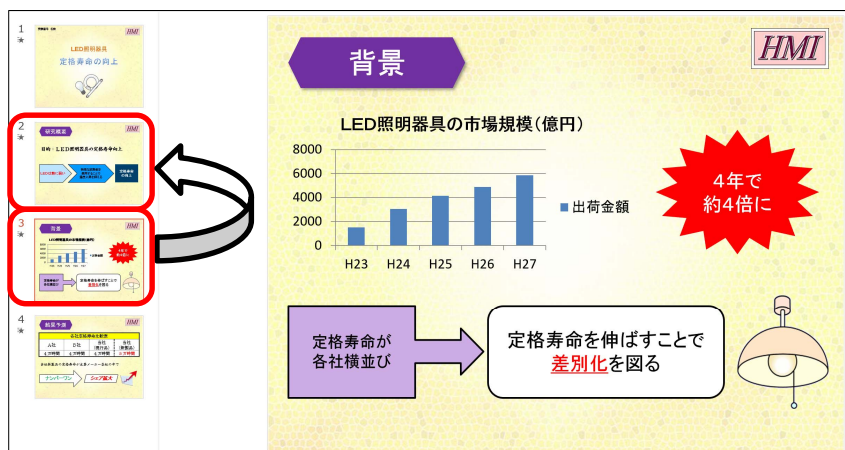


上書き保存のアイコンを選択して上書き保存をします。

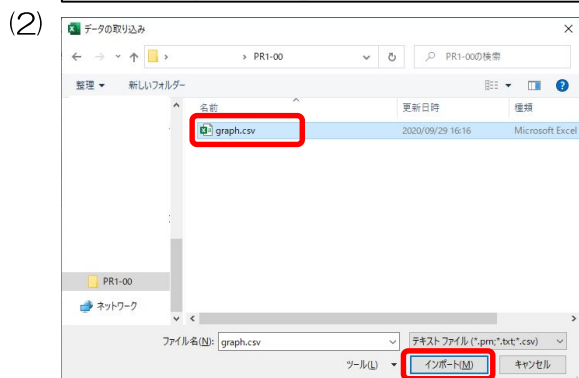
最後にスライドショーで処理条件どおりに設定できているか確認をします。誤った箇所・処理の見落としなどがあれば、修正し、再度上書き保存を行います。

スライドの並べ替え

E-1. 並べ替え：「タイトル」→「背景」→「概要」→「予測」



ストーリーを考え、画面左部にて、スライドをドラッグして順番を入れ替えます。

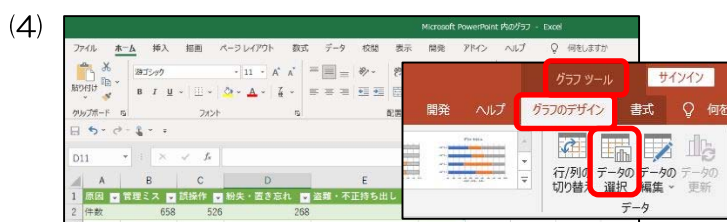


PowerPoint 内のグラフ Excel ファイルを立ち上げます。

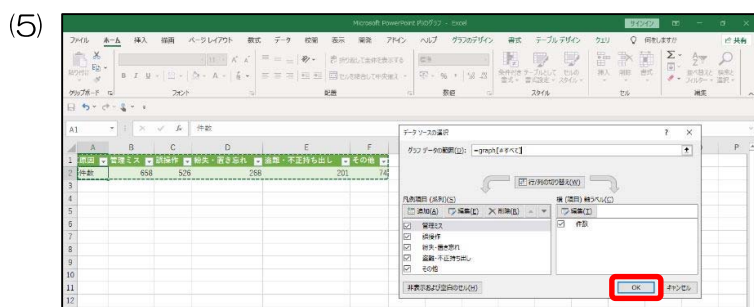
[データ]タブの[データの取得と変換]グループの[テキストまたはCSVから]をクリックします。

[PR1-00]フォルダー内の[graph.csv]を選択し、[インポート]をクリックします。

左図のような画面が表示されるので、[読み込み]をクリックします。

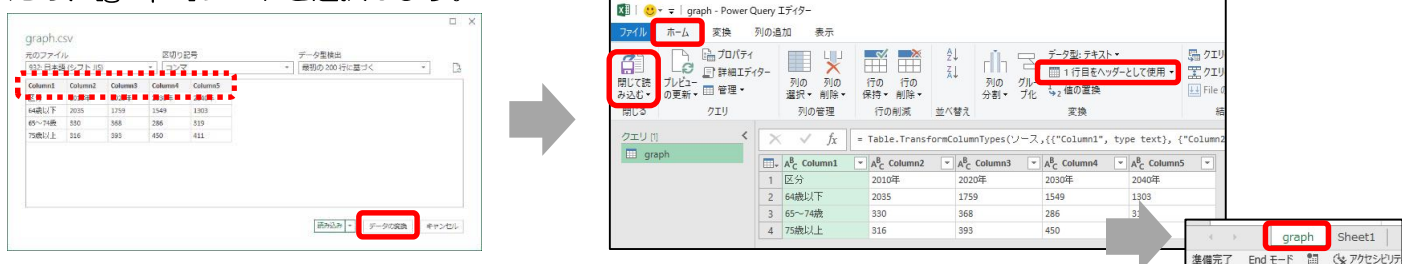


データが正しく入っていることを確認し、PowerPoint 画面に戻り、グラフを選択して [グラフツール]の[グラフのデザイン]タブをクリックし、[データの選択]をクリックします。



[graph]シートを選択して、範囲を選択し、[OK]をクリックし、PowerPoint のグラフを確認します。

★問題によっては、下図のように 1 行目に [Column...] と表示される場合がありますが、その際は [データの変換] をクリックし、[ホーム]タブの [変換] グループの [1 行目をヘッダーとして使用] をクリックし、[閉じて読み込む] をクリックします。「Microsoft PowerPoint 内のグラフ」の画面に戻ったら、[Sheet1]シートが選択されているため、[graph]シートを選択します。



※本手順や画面表示は Microsoft Office のアップデート等により変更される可能性があります。